る、各位は偉大なる祖先成吉斯汗大帝の偉業を偲び、その心を心として外は防共工作の徹底に、內は資源の開發に充分注力され、新東亞建設にその重大使命を遺憾なく遂行されたい

次は中華民國の各位に御願ひしたい、今次の事變により中華民國の民衆が實に甚大なる被害を蒙られたことに對しては衷心御同情申し上げる、今次の事變は決して支那民衆を敵とするものでなく、容共抗日を標榜し東亞の秩序を敢て攪亂する憎むべき蔣政權の徹底的膺懲を目的とするものであるが、本日御列席の各位はこの本義を充分理解され、同一國民であり乍ら蔣政權より敢然離脫され、新東亞の建設に協力されつゝあり、これは實に大局觀を識するの崇高なる行動であり、我々は心から欽服に耐へぬ次第であります、由來物資或ひは利害によつて結びつく關係は極めて不健全であり、單なる利害關係に基く結合は往往にして兄弟墻にせめぐの事態を誘發するものである、故に我々は先づ道義的理念に基調を置いた精神的結合を強化し以て確固不動の建設に邁進せねばならぬ、各位にかかれても宜しく政治的道德を實踐され道義的理念に立脚し東亞永遠の平和確立のため東亞民族興隆の爲充分の努力を拂はれんことを切に要望する次第であります、尙海外にある華僑が往々にして蔣政權一派或ひは援蔣諸國の宣傳に踊らされ、今次聖戰の眞の意義を理解せず不逞行爲に出でんとするの傾向が認められるが、これは極めて遺憾千萬であり、宜しく各位の指導宜しきを得て、これが誤解を一掃されるやう御努力ありたい

最後に滿洲の各位に御願ひ致します、滿洲國に於ける建設事業が文化に、經濟に、產業に、交通に着々順調な進展を見てゐることは極めて心強いことであり衷心御同慶に耐へぬ所である、現在の滿洲國にとつて同時に日本にとつても最も大切なことは產業開發五ヶ年計畫の一日も早き達成であるが、既に五ヶ年計畫も順調な推移をみ、輝かしい成果を收めて第二年度を終らうとしてゐる、關係の各位には尙一層御奮勵の上、一日も早くこれを完成されんことを切望致します

關口保氏（蒙疆聯合委員會總務部長）　只今角野さんから蒙疆に關して色々御話がありましたが、蒙疆に關する御理解が非常に深いのに敬服致しました、昨今蒙疆の特殊性と云ふことが各方面で強調されてゐますが、極めて抽象的であり、果して蒙疆の特殊性とは何であるかについては極めて不明確であります、私は先づこの蒙疆の持つ特殊性について說明したいと思ひます、この特殊性とは大體二つの部分から成り立つてゐると思ひます、その一つは「地理的に外蒙に接し、日本の對外蒙政策の據點である」ことであり、第二は「西北防共ルートに對する大陸政策の據點である」と云ふことであります、蒙疆三政府は防共工作を徹底的に行ふこと、そして同時に日本に依存し、日本を中心としその大陸政策の據點としての實務を完全に遂行することを旗印として進んでゐる、從つてあらゆる政策もこの根本精神を形の上に具現したものであり、七百萬民衆は大和民族を中軸とした民族協和の建設に邁進してゐる——之が蒙疆の政治的特色であります、今後はこの民族精神を充分に活用し、日本の外蒙政策、西北政策にその實務を遺憾なく遂行すると共に、一面に於て豐富なる資源を急速に開發し以て民生向上に資したいと思つてゐます、蒙疆資源はその大部分が軍事資源であり、日本の要請に即應し得るものが少くない、今後の資源開發に際しては先づ第一に日本の要請に即應し、第二に民衆の福利增進に資することを目標としたいと考へてゐます、これ等豐富なる資源を有効適切に開發するにはどうしても充分の資材が必要で、これが供給に關しては日本特に大阪の御援助を御願ひ致したい、尙資源の一例として羊毛に關して說明致します、蒙疆地區からは支那羊毛の大半を搬出、供給してをりますが、その蒙疆羊毛の大部分は西北に連る新疆、青海方面より包頭に搬出されるものであります、現在の情勢ではその出廻りはあまり好成績とは申せませぬが、平常時に於ては日本の羊毛工業の需要を充分滿たし得る實力を備へてをり、又その時期が必ず近い內に來ることと信じてをります、然し乍らこの西北地區より豐富に羊毛を搬出するにはこの地方に豐富に雜貨を供給し、極度に不足してゐる日用品を安價に供給してやらねばなりません、この雜貨の供給と云ふことは單に貿易上の見地からのみでなく、西北開發の上にも非常に大きな效果を齎すもので、この點充分の御考慮、御援助を御願ひしたい

王子惠氏（維新政府實業部長）　短時間でお答へすることは或ひは誤解を生じ、脫線する懼があるかも知れませぬが——、事變勃發直後、私は率直に申しますと「これは失敗した」と思ひました、私は過去二十年來日支兩國が眞に一體とならねば東洋は決して安定しない、支那は決して救はれないと固く信じて來ました、八月十三日事變は上海に飛火し、いよ／\擴大すると思ひました、この時の氣持を率直に申し上げると、日本は果してどれだけの決心を以て事に當つてゐるのか、する／\と引きずられてゐるんではないかと、案じてゐましたしかし乍ら現在ではこの事變は在來の戰爭とは本質を異にしてゐるんだ、新東亞建設の爲の戰であるんだと云ふことをはつきりと認識してゐます、今日に於てはこれは動かすことの出來ぬ事實であります

今後の問題は果してどうゆう風に建設して行くか、どうゆう方向に進むべきかの具體的方策を確立することであります、漠然と單に經濟提携を唱へてもそれは何にもなりません、經濟と云はず、思想と云はず、文化と云はずあらゆる建設について日滿支三國の優秀頭腦を集め、最善の方途を決定すべきである、然し今日ではどの方向に向ふべきかの方向は既に決つてをり、その方向に向つて如何なる道程をとるべきかを眞劍に考究せねばならない、私の考へでは政府と政府とがやることは甚だ物足りない、國民と國民、經濟界と經濟界、文化界と文化界が眞に協力提携し、建設に邁進せねばならない、東洋は今非常時中の非常

時に直面してゐます、この際必要なものは貢献と熱情であり、國民と國民との提携であります、この大業の前には個人の力など何等問題ではなく誠に微々たるものであります、上海に於ては今や五百萬乃至一千萬の人口を擁する大都市計畫が着々と進行してをり、こゝに新らしい產業、新らしい文化を起さねばなりません、明春三、四月頃にはこの種の懇談會を上海に於て開催し、上海の實情を視察して貰ひ、同時に上海と大阪とが如何に密接な關係に結ばれてゐるかを理解して戴きたいと考へてをります

岸信介氏（滿洲國產業部總長）　滿洲の實情については既に充分の御認識を持つて戴いてをり在來とも色々御支援を賜つてをりますが、今後は御協力を一段と強めて戴くやう初めに御願ひ致します、私は商工省に永らくをりました關係上、大阪の方々とは在來から極く親しい間柄にあります、滿洲國におきましては第一期計畫たる治安の肅正警察の一掃、產業開發の基礎的調査が既に完了致しまして今後は豐富なる資源を極めて急速且合理的に開發せねばならぬ時機であります、產業開發五ヶ年計畫も既に第二年度を終らうとしてゐます、初年度の實績に關しまして、その大體を御報告致しますと、その半ばに於て支那事變の勃發を見、計畫當初に全く豫期しなかつた幾多の困難が起りましたが、幸ひにして電氣、製鐵、石炭等基礎的重要部門におきましては大體計畫通りの成果を收めました、そしてある部門では當初よりも却つて大きな收穫を收めたものさへあります、只農產部門につきましては天候その他の關係から多少豫定よりも惡く、又石炭液化部門は技術、資材の關係から多少遲れました、この五ヶ年計畫は立案當初におきましては過大に失するとの觀を與へましたが、現在直面してゐる事態より考へますと計畫內容はまだ〳〵不充分で、もつと〳〵擴大強化せねば新事態に即應し得ませぬ、そしてその進捗狀況よりすると擴大は決して不能事ではありません、新事態に對應し五ヶ年計畫は今春根本的に再檢討が加へられ、修正が施されました、所謂修正五ヶ年計畫がこれであります、今最初の五ヶ年計畫と修正五ヶ年計畫とを比較して說明致しますと、當初の計畫によりますとその資金計畫は二十五億乃至三十億であります、それが修正計畫によりますと五十億乃至六十億に增額されました、之は物價の影響にもよりますが、大體に於て最初の倍額であります、擴大された部門は鐵、石炭、液體燃料、輕金屬、電力、自動車、飛行機と全部工礦部門のみに限られ、農產その他の部門は在來通りであります、この工、礦部門を初めとしまして明年上半期にはアルミニユーム、曹達の第一期計畫が完成し、逐次增產が現實に現れ、ぼつ〳〵實際の物が出て來ます、これは何よりも喜ばしいことであり心強いことであります、我々としては五ヶ年計畫の遂行に充分の努力と熱意とも集中致しますが、今後の道程には幾多の困難が伴ひます、先づその第一は資金でありましてその大部分は日本よ

り供給を受けることとなつてをり、これにはまだ多少の困難もありますが大體うまく行くものと思ひます、次は資材の手當問題であります、採炭機、選炭機、モーター等の入手困難な爲に既定計畫遂行の遲延したものもあります、この資材は日本より供給不能とあれば、勢ひ外國より入れねばならぬ、然し乍らこれには色々面倒な爲替問題が起つて參ります、然し今日の狀況よりしますと、資金、資材の問題は幾分困難ではありますが大體の見透しはついてをりまして、これにも增して充分の御援助を得たいのは人の問題であります、滿洲國は人に關する限り量的、質的兩方面に於て極めて貧困であります、日本においても生產力擴充の爲に人的要素に深い關心を拂はれ、この方面にも是非必要のことは思ひますが、滿洲の實情をも深く認識されまして內地產業の擁する人材を割讓して戴くやう切に御願ひ致します

片岡座長　まだ外に質問の通告をなさつてゐる方が御座いますが、時間の關係上止むなくこれで一般質疑を打切りたいと思ひます只之等各位の御質疑の內には是非御答へせねばならぬ重要なものがありますので、便宜上私から代つて御話し致します、その第一は北支への企業進出であります、北支開發會社のみで全般的開發がうまく出來る筈はなく、どうしても大、中、小各企業を通じて自由企業が勃興せねばならぬ、內地に於ても企業家は熱心に研究をしてゐるが資料不足の爲どうしても充分の研究が出來ずその結果進出に躊躇することとなります、それ故今後どの部門の企業に着手するとが一番有望であり、効果的であるかの點についての質疑であります、次は北、中支へ內地より進出するに際しては心から落ち着いて安住し得るやう社會的施設を整備して戴きたいとの要望でありまして誠に尤もなことと思ひます、この二點について私から各位に御協力を御願ひ致します

第一部　第一分科會（一般產業）

座長　大阪商工會議所會長　森平兵衛氏

（十一月廿六日午前三時十分開會　同四時三十分散會）

嗤ふべき門戸開放主張國

栗本勇之助氏（政治經濟研究會常任委員長）　一般產業問題を論ずるに當りては、當然、その基本となるべきものは三國經濟ブロックの確立であり、その目的達成に就て私見を述べてみたい、それ

には日滿關係、日支關係、日滿支三國ブロック關係、三國ブロックと第三國との四つの關係に就て話を進める、先づ第一の日滿關係であるが、日滿支三國經濟ブロックを充實することは三國一體的に押し進めなければならぬ問題で、しかもこれを確立、充實を圖るためには資材、資本の提供を行はねばならぬ、その意味に於て、資材、資本の提供を圓滿ならしむるためには日滿關係の緊密化は益々重要性を加へ來り、開發資材、資本を提供しなければならぬ立場を深化せしめてゐる、從つて日滿關係の緊密化を圖るためには腰を据えて慎重にしかも積極的に東亞の建設遂行を建前として日滿資源の開發を行はねばならぬと考へる、日滿資源開發には先程北海道視察を行つたが、北海道の資源開發工作を本格的ならしめることなども忘れてはならぬことだ、それを以て滿洲の資材、資金を充當することも一つの方法であらう、三國ブロックの確立、支那の開發にはどうしても日滿經濟力の充實、強化を圖りたい、斯かる意義に立脚するとき日本と滿洲とは相通じ相扶けるべき性質を持つてをり、この方針に向つて邁進してはゐるが、日滿ブロックが日滿支ブロックに擴大されてきたことを思ふと、日滿ブロック當初の目的は上り努力すべき協力面を廣くしてきたことを痛感する、從つて日滿經濟力の充實、強化を急テンポで進めなければならぬ、資金、資材を益々必要ならしめるが、特に人的資材に重點を置かなくてはならぬ、人的資材に重點を置く強化手段を講ずべきだ、人的資材と物的資材とを漸々相俟つて充實せしめて行くところに日滿緊密化のポイントを見出さねばならぬであらう、しかるに遺憾事とされることは日本自體が人的資材、物的資材に不足を告げてゐることで、これが對策としては如何に緩和するかといふことが大きな課題となるその對策の一つとして既に內地側の情勢に對應し犠牲を厭はなくされた部門の技術者、勞働者、企業家を包括した日本の企業陣營をそのまゝ滿洲へ延長さすことなどは緊急を要することであると考へてゐる斯かる方法は犠牲を活かすことゝ滿洲の開發工作に大なる貢獻をなす一石二鳥式の對應策である、最近の一例をあげると日本セメント業が生産力の六割限りは操業休止をしてゐるが、これなども企業陣營を滿洲延長に成果あらしめるべきだ、その場合、滿洲の統制を考慮に入れなければならぬが、統制を阻害せぬやう慎重の態度で臨むべきことを忘却してはならぬであらうが、兎にも角にも日本の企業陣營を滿洲に延長さすことは緊急策には違ひない、この點は過般の日滿經濟懇談會の席上、中小金屬工業を企業陣營の滿洲延長として協議し、大阪府當局を中心にして實行に移らんとしてゐる、要は日滿支三國ブロックに促進性を持たせるために日滿の關係は益々緊密化を要求し人的資材、物的資材兩方面にわたつて對應策が新なる面で實現せしめなければならぬ、その第二は日支の經濟關係であるが、支那に於ても滿洲國の場合と同じやう人的資材、物的資材兩方面を具備するやうに考へなくてはならぬ、日支關係も滿洲國と同じやうなことが云へる、現在の支那には治安問題、資源開發、農民の生活安定その他解決を要すべき重大問題が横たはつてゐる、これらの解決は是が非でも行はねばならぬ、嘗て日支共存共榮を提唱し日支合辦事業を起すには起したが、それが失敗に終つた原因をみるとき明かに人的資材の結合に缺けてゐたといふべきだ、人的資材の結合に重點を置かぬ日支合辦は從來の如く失敗の歴史を繰返す結果を招から、その歴史にみて特に人的資材の關係を痛感する、その失敗の歴史は日本人にも支那人にもあり、その何れかの一方に責を歸すべきでない、日支經濟の本格的提携がなければ斷じて東亞の建設が行ひ得ないことを充分に認識して置くべきだ、第三は三國經濟ブロックの關係であるが、日滿合作、日支合作と云ふも結局は三國經濟ブロックの確立を圖るにあり、三國經濟の建設、東亞新秩序の建設にあるを認識さるべきだ、日滿支經濟ブロックは國防の必要からくる經濟ブロックたらしめ、又日滿支三民族が自主的に各自の特異性を發揮しつゝ道義心を根本とする眞の東亞ブロックであることを根本精神として、日滿支經濟ブロックの建設に邁進しなければならぬと思ふ、この點は外國の例にみるブロック形態と自と精神を異にしてゐる、例へば英國のブロック精神と比較するとき、その一例を擧げれば英國と印度との關係にみるブロックであるが、英印ブロックは眞に印度民衆の發展を希望してゐるものとは云ひ難く英國のための印度の國防を充實してゐるやうだ、斯かる際にみるとき日滿支經濟ブロックは國防上の必要からくる經濟ブロックの意味を考へるとき全然國防經濟の觀念を異にしてゐるのである、次に第四の日滿支經濟ブロックと第三國との關係に話を進めるが、日滿支經濟ブロックは日滿支民族の永久の發展を希望してをり、その關係は一體不可分であり、渾然したやうに三國關係は國防上の必要からくる經濟ブロック、また日滿支三民族が自主的に各特異性を發揮しつゝ道義心を根本とする眞の東亞ブロックであるとの二點を基礎にその確立を期さんとしてゐることを第三國人は認識すべきである、日本民族は道義心の強い民族である、日本民族ほど義理、人情に厚い民族はなからう、日本人が短氣だと云はれるのは利害を無視し義理、人情を持つてゐるからだ、從つて割切り行爲に對しては怒りつぽい、この道義的精神こそ日滿支經濟ブロックの根底に流れてゐる尊い精神である、日本民族と文化系統を同じくする滿支民族はこの特徴を持つ經濟ブロックを打ち樹てねばならぬ、かの共產主義の如く絶對に相容れざるもの、共產主義の恐るべきことは共產黨の目標が動物以下の人間を目標とする方法に過ぎないからだ、日滿支の商業、經濟、文化の向上を圖らんとする方法とは目標が全然違ふ、今日、第三國が盛んに門戶解放、機會均等を叫び應分の要求をしてゐるが、彼等のいふ國際正義の本質を解剖すると單なる相互の意見の交換に過ぎない、その國際正義が世界の何處にも實現せられてゐな

いことを考へるとき、斯かる要求に關心を持つことは出來ぬ、日滿支三國ブロックの本質、建設こそ人類の幸福、世界の平和に貢獻するものなりとの認識と固い決意とのもとに努力すべきである、斯く日滿支三國ブロックの本質、建設を理解せぬ第三國には絶對に門戶開放、機會均等をなす必要を認めぬ

津田信吾氏（鐘紡社長）　支那に於る排日思想はその根ざし極めて深く、初め感情的根因によつたものが最近では政治的動きにまで發展してゐる、これと共に未だ全からぬ治安の狀態は眞の日支提携を遲遲ならしめてゐる、そこで新政府當路の方々に先づ御願ひしたいことは速急的治安の回復であり誤つた排日思想の一掃と云ふことで、それには軍の力に俟つと云ふより日本人の個人に持つ眞心を御持ち歸り頂つて之を民衆の心に植ゑつけその自發的運動を促すことが肝要であると私考する、次に現下最も憂慮されるのは支那共產主義のはびこりであつて、積極的に親を、子を肉親を捨て得ない東洋人であつて見れば斯る個人主義思想に立脚した外來思想とは根本的に相容れざるものがあり、よろしくこれを排擊して關係相扶けることを基調とした東洋主義哲學により御互を見詰め諒解し合はねばならぬ、すなはち國民性を完全に諒解し合ふと云ふことが經濟提携の第一步であらなければならぬ、次に（今次聖戰の意義に言及し）斯く日本が支那と戰つてゐるのは何等求むる所なく、たゞ次の時代建設の爲であるにも拘らずこれを認識し得ない列國は徒らに門戶開放、機會均等を叫んでゐる、これは甚だ苦々しい限りで、支那側はこれに答ふるに先立ち上海、天津の租界地回收を求むるべきである、即ち治外法權の撤廢、領事裁判權を廢止して占領地を擴大することが治安維持からいつても眞の門戶開放の意味からしても先決さるべき要緊事である、これを私は提案する

岸信介氏（滿洲國產業部次長）　栗本勇之助氏の意見には全く同感である、滿洲國では建國當初、統制以前の日本とは全然方法を異にして全產業に許可制度を實施し、統制經濟により滿洲產業發展の一步にはいつた、全產業の許可制度に關しては最初、日本側より幾多の誤解を受けたが、その後は漸次統制を緩和し國家的、基礎的產業たる製鐵、電力、石炭等の重要產業、軍需工業には特殊會社制度をとつてゐる、更に特に日滿間に連絡を要する產業、日本產業との關係から產業統制法で許可制度をとり、その他の產業は放任の態に置き、その種產業の自由滿洲進出を認めてゐる、栗本さんの云はれた日本企業隘路の滿洲延長は至極結構なことであると思ふ、既に最近に於てはこの種日本企業隘路の滿洲延長が事實の上にあらはれてゐるが、先刻から問題にされてゐる人的資材といふ問題になると、なほ多くの人的資材を切實なることとして必要なことは喋々を要しないところである、現在の滿洲には人的資材の貧困が甚だしく、それが日本企業隘路の滿洲延長といふ態でなくとも、如何なる形態を持つものをも歡迎したいと考へてゐる、內地中小工業者の滿洲進出に就ては內地側から色んな希望を述べてきてゐるが、極力この希望を入れるやうな態度を持つてをり大いに努力してゐる、最近、滿洲國政府では根本的指示を與へるのみに止め、企業家の自由意思を尊重して滿洲產業開發に寄與されるやうな方針をとつてゐる、要は日滿經濟の緊密化にありこれを達成するためにはあらゆる努力を拂つてゐると云へる

殷同氏　歐洲大戰以來日本の產業が飛躍的發展を遂げてゐることは充分承知してゐる、その驚くべき發展は驚異に値ひするものがあるその日本と支那との間に事變が勃發し戰火が擴大した、これ國民黨の指導精神の錯誤にあることは云ふまでもなく、既に百萬の犧牲者を出してゐる、今や國民政府は一地方政權に顚落、戰爭は一段落を告げ日本も相手を失ひつゝある、支那民衆は戰爭には敗けたが決して意氣地のない國民ではない、支那における民衆の意識は最近著しく進步し國家のためなら例へ敗戰するとも戰つて死ぬことを恐れるといふ者が澤山にゐる、これを知つて貰へるなら決して意氣地のない國民でないといふことが判つて貰へると思ふ、再び國民黨の轍をふまぬ覺悟が必要である、支那人の間に斯かる意識が生れてきたことは誠に喜ぶべき現象で、占領區域の治安維持の根本は斯かる覺醒した支那民衆の意識を充分に善導することにあると思ふ、それには武力による治安維持の時代は既に過ぎ、眞の治安維持を行ひ得るやうな方法をとらねばならんと考へてゐる、日本軍隊は作戰を持つてその本質となし、治安維持工作には現在の場合既に適當でないと思ふ、占領地區の軍事施設を解き治安維持の職責をわれ等に任して欲しい、一刻も早く治安維持の職責をわれ等の手に委ねられるのを希望してその筋の人に申上げてゐる、ことに思想的に云ふと支那の青年層の思想は今日英米と提携する英米依存の希望を持つてゐる者、左翼的思想を持つ者、親日によつて國を樹てる者、國民黨に信賴し自分の黨を樹てんとする者等種々雜多に區別することが出來、青年層に對してはこんな風で統一性が多く責任を持つことが出來ない、全く乖離となつてゐる有樣で共產主義の喰ひ入る最も絕好の時期にあると云へる、今こそ資安訓練の度に應じ、支那は日本と最も親しくすべきだといふ新體制の釀成に最も協力しなければならぬと思ふ、單なる觀善を信じない、われ等は利害關係の打算から國を樹てねばならぬであらう、國民黨の主義を檢討し、經濟的にも、政治的にも充分の檢討を行つて新なる主義、親日の新體制を構成しなければならぬと思ふ、絕對に共產主義とは相容れない、家族主義により相寄り相扶けて行かなければ新しい支那は絕對に生れては來ない、支那大衆ほど生活的の慾望の低い、程度の低い生活に甘んじ幸福に暮してゐる人間はなかから、從つて他からの影響がなければ共產主義などには陷らぬ、支那人には比較的道德的思想が深く根ざしてゐるから、われ等の努力により容易に共產主義への危機から救へるものと信じて

ゐる、親日を標榜とする新支那にはどうしても日本との經濟提携が必要であり、この點大いに經濟提携の實を擧げたいと思つてゐる、第三國人が盛んに門戸解放、機會均等に就て要求がましい叫びをあげてゐるが、それらは全く我田引水の議論であり、支那の實情よりすれば大衆を僞瞞するも甚しいものと云はなければならぬと思ふ、領土保全といふ言葉を使ふことすらわれ等は非常に迷惑に思つてゐる、最後に今後は產業の上に大いに日本とは提携して進まなければならぬと思つてゐる、それに就て日支合辦事業につき一言するが、從來合辦事業で成功したことがない、今後はこの失敗に鑑みて、互に仕事をするといふことに就て互の理解がなければならず、この理解を深めることを第一とするのが先決條件と思ふ、意思が疎通してゐて斷じて合辦事業の發展は期せられないと思ふ

第二部（纖維工業）

座長（大日本紡績聯合會委員長）庄司乙吉氏

（十一月廿六日午後四時四十分開會　同六時廿分散會）

三國繁榮のため棉花自給が必要

庄司座長　日滿支三國同業者が眞に提携、融和して新東亞の建設に邁進せんとする秋に當り、この日滿支經濟懇談會が大阪に開催せられましたのは極めて意義あることと思ひます、日滿支ブロック內の纖維工業は前途洋々たるものがあり、棉花、羊毛等原料は今後の努力如何によつては充分自給自足の域に到達し得るものと思ひます、私は嘗て事變前上海に開かれました中日實業協會總會に出席致しまして要路の方々と懇談する機會を得ましたが、その當時におきまして日支兩國は政治、外交的には相當險惡な空氣を釀してはをりましたが、それにも拘らず經濟關係におきましては相當提携の實を擧げ得まして非常に力强く感じました、現在では政治的、社會的の弊が除去されまして眞に小異を捨て大同に就かんとするの重大時期に直面してをりまして今後に於ては必ずや大なる成果を收め得るものと確信してをります、當時すでに日華紡織業共同委員會設立の計畫さへ擡頭したのであります、私の御挨拶はこの程度に止めまして最初に小寺さんに棉花に關しての御話を御願ひ致します

小寺源吉氏（日本棉花栽培協會理事長）　日滿支三國間に於きましては先づ何よりも有無相通ずの實を擧げねばなりません、棉花につきましては特に然りと思ひます、棉花は以前は日本內地に於ても栽培致しましたが、その後はかに有利なものが多く、今では全く栽培されてをりません、然るに支那は面積が廣大でありまして、氣候も好適、その上技術的にも經驗が豐富であります、今支那に於ける棉花生產額の大要について說明致しますと、一九三六年には四川も加へまして一千六百萬ピクルの生產がありましたが、一九三七年には一千八十一萬ピクルに減退し、更に本年度におきましては八百萬ピクルと更に減少致しました、協會に於きましても約百萬ポンドの種子を配給致しまして極力增產を援助致しましたのでありますが、事變と天候の關係から遺憾乍ら鐵道沿線のみに限られ、微減を見たわけであります、而も棉花を他の第三國から輸入するとは極めて困難となつてゐるのであります、協會におきましては、まだ資金が六十萬圓ばかり殘つてをりますので、この全額を支出しまして、充分增產に努めたいと思つてゐる次第であります、次に支那に於ける棉作の前途の見込についてお話致しますと、明十四年度よりいよいよ八ケ年計畫が實行に移されまして、八ケ年後には確實に北支（河北、山東、山西）に於て繰棉が一千萬ピクル、中支（河南、湖北、湖南、江西、安徽、陝西）に於て一千萬ピクル、江蘇、浙江兩省に於て五百萬ピクル計二千五百萬ピクル生產される豫定となつてゐます、一方これに對する日滿支三國の紡績工業施設を見ますと大體一千八百萬錘乃至一千九百萬錘と概算されます、假りに一錘の所要棉花數量を約二ピクルと見積りましても總需要額は三千六百萬ピクルとなり、これに對する棉花生產は漸くその六割にしか當りません、これ以外に滿洲及び朝鮮に於て多少生產され、今後の增產に期待されますから、相當の研究さへ加へますれば充分自給自足の域に達する見込があると考へます、この棉花增產に關聯して支那側から屢々「こちらは出來る限り增產に努めるが、果して日本はこちらで生產する棉を充分に買つて吳れるのだらうか？」といふ質問を受けるとでありますが、私はこの心配は全く無用だと信じてゐます、今申しましたやうに八ケ年計畫が完全に遂行されましてもまだまだ全需要に足らないのであります、こんな心配は一掃してどんどん增產に努めて戴きたいと思ひます、現在では北支にも、中支にも、滿洲にも、朝鮮にもそれぞれ棉花協會が設立されてをりまして私の方の協會では及ばず乍らその背後から御手傳ひしてゐるのであります、だから必要な注文はどんどん出して戴きたいと思ひます、尙は結論と致しまして增產には先づ治安の維持が何よりも肝要でありますから、今後ともこの方面に充分の御留意を御願ひ致します

殷同氏　只今小寺さんから私の方の增產計畫について御話があ

りまして、八年後の增產を以てしても總需要量の僅か六割にしか賄らない、いくらでも增產してくれとの示唆が與へられました、私と致しましては棉花增產に對しましては大體次のやうな二つの考へを持つてゐます、その一つは徒らに尨大なる豫想計畫を樹てゝも實現不可能に終つては何にもならぬ、實現可能の程度に於て計畫を樹てねばならぬといふこと、その二は無制限に棉作地を擴大すれば米、麥作地が少くなり、その結果糧食供給を如何にするかの問題が起つて來るといふことです、だから八ヶ年計畫に當つても大體現在の二倍乃至二倍半位增產しこれと並行して品種の改良、棉作耕地の改良、肥料の改良等を圖つて行きたいと考へてゐます、但し今お話し致しました增產計畫は單に改良棉に關するもののみで在來棉は現在の儘放置することとして計畫の中には入つてゐません、耕地の開墾、アルカリ、土質の改良等による耕地增加もどん／＼計畫を進めてゐますから需要さへあれば一手に供給を引き受け得る自信を持つてゐます、只心配なのは數量よりも寧ろ品質の問題で、品質をよくするにはどうしても農民に對して必要な統制を加へねばなりません、然し現在の農民には統制に對する心構へが甚だ不足ですから、これに對して適當な指導を加へることが絶對に必要で農事合作社で指導を引受けてゐます、然し乍らこれだけでは不充分で必要によつては法律によつて統制を加へなければならぬ場合もあらうかと考へてゐます、品質改良につきましては日本よりその道の權威者を迎へ、支那の經驗者と相談して試驗をすることにしてゐますが、地質氣候共好適で非常に力強く思つてゐます「果して日本が棉を買つてくれるかどうか……」との心配は率直にいひますと絶對にないとはいへません、といふのは棉花は相場の騰落が甚しく、如何に經濟ブロックとはいへ、他より高くては買つて貰へない、私は經濟ブロックだからといつて無理な押賣りはやりたくない、健全な計畫の下に增產を圖り、なるべく安價に經濟原則に從つて供給したいと考へてゐる、本年は農民の手から放れた値段は安いが、日本の商社へ這入る値段は相當高くなつてゐる、その原因は中間に惡い作用が介在してゐるのにあります買付から需要者の手に渡る迄一貫して信用ある機構を作り上げることが必要です、買付に際して自由競爭に任すと値段は自然に吊り上り、この結果農民はそれだけ利益を受けることになりますが、この種の不當な利益心を煽ることは結局に於て農民に對しても惡い結果を齎すと思ひます、農民の賣惜みとなり、取引が不自然、不健全に陷ると思ひます私はブロック經濟にあまへて、不當な利益を貪らうとは思ひません、商品は商品としてどこ迄も價格と品質で戰はねばなりません、滿洲は氣候上棉作に適してをりません、だから無理に棉作を奬勵せずともよいと思ひます、この方は支那で引受けますから、その代り食料品を安く滿洲から出して戴きたい

飯尾一二氏（在華日本紡績同業會委員長）　私は在華日本紡績同業會を代表致しましてその立場及び三國紡績業の提携について意見を述べたいと思ひます、三國經濟ブロックに關聯して、紡績業を考へまするに紡績は他の產業と多少その趣きを異にしてゐるのであります、紡績業は支那に於きましては最大の近代工業でありまして、一方滿洲に於きましても規模こそまだあまり大きくありませんが主要工業となつてゐます、他の產業部門に於きましては滿洲、支那が原料を供給致しまして日本が生產し、その製品を滿洲、支那に供給するのが大體の原則となつてゐます、然し紡績業に關しましては三國共に既にある程度の發達を見てゐるのでありまして、これ等の實際、國策方策は他の部門とは全然切り離して別個に考へる必要があるのであります、在華日本紡績業者は以前から日滿支三國提携を深く考へてゐるのでありまして、內地工場と連絡の必要あるは勿論、支那側工場とも親友關係を持續致しまして共存共榮の實を擧げねばなりません、何れが榮へ何れが衰へるといふやうなことがあつてはなりません、日支兩國間にある程度の協商が成立し、相互の協調がうまく進展しやうとする矢先きに今度の事變が勃發致しまして今迄の苦心が全く水泡に歸したのであります、今後は倍に倍して連繫を圖る必要があり、大いに努力せねばならぬと考へてをります、今次の事變で損害を受けられた支那側工場に援助をしてゐるのも、一にこの現れに過ぎないのであります、滿洲の紡績工業は當初は在華日本紡績同業會の內で一緒に育つたのでありますが、それが滿洲紡績と同時に獨立、分離したのでありまして、いはゞ兄弟關係にあるのであります、日滿支三國はその國情を異にしてゐますので、この間に利害衝突の起るのは覺悟せねばならぬことであり結局この衝突を如何にして調整して行くかゞ問題であります、この具體的手段としては一言にしていへば互讓の精神を發揮し、それも單なる上面だけの互讓でなく眞に心と心の結合による互讓に生きなければなりません、親たるべき內地工業、兄弟關係の滿洲工業、親友關係の支那工業、この三者の間に介在して在華紡はこれが調整の仲介者として充分にその實務を遂行致したいと念願してゐます、三國同業者各位の御支援を切にお願ひする所以であります

南郷三郎氏（日本綿糸布東亞輸出組合理事長）　支那物產を第三國に輸出することは結局に於て新政權の財政に對して支援を與へることとなるから、第三國への輸出は新政府のクレディットたることを銘記とせねばならぬと信ずる、現在支那奥地にはまだ／＼相當の棉花があるにも拘らず出廻り少く、買付困難なのは治安に基くものと思ふが、同時に通貨に對する農民の信用が薄いことにも因ることと考へる、今日直ちにこれを是正することは困難であるから先づ砂糖、鹽、燐寸等の物資を奥地に供給し、物々交換により棉花の出廻りを早めることが得策だと思ふ、滿洲、支那は日本の綿糸布にとつて極めて大きい市場であるが近年排日貨により尠からぬ打擊を受けてゐることは極めて遺憾なことで

この結果如何に小さい市場とはいへ他の市場に轉出する結果になつたのであるが、これも各國のブロック政策により頭打ちの實情で、中南米、シリヤ、モロッコ、埃及等でも面白からぬ事態を生じてゐる始末である、支那が抗日政權より離脫し、關稅障壁も在來よりうんと低くなつた今日、今後の進出には大きな期待を懷いてゐる、三國の一致協力により貿易親善の實を擧げたいと念じてゐる次第であります

第二分科會（金融）

座長（大阪手形交換所委員長） 中根貞彥氏

（十一月廿七日午前十時十分開會 正午散會）

餘り急がず 先づ法幣濫發を防止

中根座長 蒙疆、中支、北支の順序で金融實情についての御説明をお願ひし、終つて質疑に入りたいと思ひます、最初に寺崎さんどうぞ

寺崎英雄氏（蒙疆銀行副總裁） 蒙疆地方の產業資金を供給するものは昨年創立された蒙疆銀行のみで、同蒙疆銀行券による通貨の一元的統一はほとんど完成するにいたつた、日滿通貨にたいしては北支との境界で蒙疆銀行券と引換へるやうにしてゐる、外國貿易業務は蒙疆銀行の獨占としてゐるが、十月二十五日に爲替管理、貿易統制に就て嚴重な法令を發布した、右は從來羊毛初め同地方の重要物資が外人の手で外國へ輸出され、代金は外銀に保有されて何んら北支蒙疆のためにならない事實があるのを是正する目的に出たもので、無爲替輸出を原則的に禁止し、送金爲替も相當に制限すると同時にそれら重要物資は蒙疆で直接外貨をもつて取引させることゝした、日滿支ブロックについては各地の特殊性を發揮させることが必要であつて、例へば蒙疆の羊毛と交換すべき品物は邦產雜貨であるのにこれが對蒙輸出を抑へられては困る、この羊毛は外貨となつて日本の國際貸借改善にも資することを考へ對蒙輸出についても大所高所からみた策をとつてほしい

竺緩卿氏 今日上海附近における法幣の流通高は案外少く、四億乃至五億元くらゐであらう、法幣の爲替相場も事變前より四割五分方低落し、輸入品を筆頭に物價は昂騰してゐる、國民政府もなほ暫くは爲替維持に努めるであらうが、今後華中の物產を買付けて輸出す

るために法幣の濫發をはじめる危險性が頗る多い、これが對策として私見としては第一に上海に有力な銀行を設け租界外では新銀行券を流通させ、法幣に對しては品物を賣らせないやうにすること、總稅も關稅も新政府の紙幣でなければ適用しないやうにすること、日支兩政府間に相互の物資購入について信用を設定することなどを考へてゐる

大平賢作氏（大阪銀行集會所會長） 新銀行を設置するには先づ確固たる財政的基礎を築き上げねばならぬがこの點はどうですか

竺緩卿氏 關稅、鹽稅、統稅の收入は事變前の三割五分位でそのうち關稅は正金銀行が保管してをり、維新政府もこれには手をつけられない、結局主な財源は統稅でこれも事變前の三分の一位に減じてゐるが、運費がないなどの關係からやつて行けると考へてゐる

殷同氏 北支における金融の前途は悲觀するに當らない、北支で必要なのは主として農業資金である、農產業振興には資材も相當要るが、反面これによつて輸出の增進も期待できる、從來消費物であつた兵器の輸入がなくなることが通貨の對外價値維持上の强味であらう中國聯銀の發展上當面する問題は租界にある銀行との關係および奧地の治安回復だ、ことに治安の不充分なため奧地では聯銀券は歡迎されず、法幣の整理も完了してゐないが、さりとてこれを壓迫して驅逐することは實行上困難である、國民政府が既に武漢まで放棄した今日、法幣はあくまで我々の味方に取込むべきではないか、法幣の處分を急いで民衆生活の根底を搖り動かすが如きことがあつてはならない、上海に今日直ちに新銀行を設立するが如きは研究を要すると考へる

大平賢作氏 支那開發に百億圓、滿洲國に五十億圓といふ天文學的數字に及ぶ資金計畫は結局わが國內で賄はれねばならないが努力次第でこの難關は果せると思ふ、從來の我國銀行業者の對外金融は貿易金融に限られてゐたが三國ブロックの結成後は內地銀行ももつと積極的に進出する必要がある

今井貞雄氏（信託協會副會長） 信託業者は從來滿洲國のために盡して來たが今後は新支那開發のためにも援助したいと考へてゐる

第三分科會（貿易）

座長 大阪商工協會理事長 小畑源之助氏

（十一月廿七日午後一時半開會 同三時半散會）

日滿支貿易を理想的に計畫化

上山勘太郎氏（大阪商船貿易部長） 新東亞建設は長期計

畫が必要であるが各當局にその用意があるか？日滿支ブロックの產業政策には出來るだけ摩擦を避けるべきで例へば二十五ヶ年計畫を樹て之を五期ぐらゐに分けてやつてはどうか、先づ北、中支は農業立地主義をとつた方が効果が多い、工業立地は日滿と摩擦を生じやすい、北中支資源の開發に科學的知識を加へれば有力な輸出品となる、しかして日滿支關稅同盟の締結を促進すべきであり、國際貿易には日滿支を一單位としてやつて行くべきで、三國の貿易委員會の如き組織を作り研究されたい

竺縵卿氏　交通運輸の杜絶のため奥地の產物が出廻らなかつたが、漸次復興して來た、電信、電話も回復して來て日本との無線通話も開始された、貿易は長江沿岸に繭、棉花、桐油、蛋類等がある、最近の貿易額を見ると上海の九月中貿易は輸出超過となつてゐる、輸入は日本が第一位を占めてゐるが、爲替管理の關係で圓滿に行かぬが、今後は日滿支間の貿易は何とか便法を講じる必要がある

青木實氏（滿洲國經濟部長）　滿洲國最近の貿易は三つの特長がある

一、輸出入ともに激增してゐる
二、日本との貿易が增加してゐる
三、貿易構成品目、數量、特に輸入品は從來の綿糸布を中心とする消費資材が減少し鐵鋼機械を中心とする生產資材が增加、全輸入の約三割を占めるに至つた

今後の日滿貿易は計畫的となつて來なければならぬ、兩國間の物資自給計畫に基く兩國間の物資の交流であるといへる、五ヶ年計畫の遂行に伴ひ日本より生產資材の輸入はます／＼增加し、之と反對に日本の物動計畫に伴ひ輸入原料による製品の日本からの輸入は減退せねばならぬ、日本への輸出は、雜穀、石炭等を中心とする部門が增加するそのほか硫安に代る豆粕、木材原料等も輸出を增加せねばならぬ、これらの貿易品をスムースに行ふためには關稅問題がある、昨年末全面的改正を行ひ日滿間の貿易をスムースにすることゝなつたが、日滿支ブロックの確立のため全體を通ずる關稅ブロックの結成についても慎重考究したい、これとゝもに必要なものは運輸關係である

對支貿易は事變以來衰へてゐたが、本年に入つてから徐々に回復し十月までに輸出九千萬圓、輸入四千萬圓となり大體平常化した、その內容は北支から棉花、葉煙草を、滿洲から小麥、唐もろこし等を出したいと思ふ、五ヶ年計畫の遂行には第三國より資材の輸入に俟つ點が多いから第三國への輸出を促進せねばならぬ、滿獨協定が改訂され一對一の輸出入をやることゝなつた、日滿伊の貿易協定が十月一日より有効となり對伊輸出も增進することゝなつた、この二つを樞軸として將來の第三國輸出は期待される、第三國輸出の九〇％は大豆であるから大豆の增產について考へねばならぬ、その他蘇子油、落花生、豚毛、マグネサイト等に就ても輸出增加の方策を考へねばならぬ、第三國輸出について支那を障害と考へる點は爲替の問題で、滿洲からの大豆が

一國支那へ出て、支那から第三國へ輸出されることがあつた、これは貿易統制に依つて防止しつゝある、次は支那において戰爭的立場にある落花生、豚毛等で、これが安いベーシスの圓貨を利用してどし／＼第三國へ出てゐる、いづれも法幣に關係してゐるのだからこの點日支當局で充分考慮されたい

關口保氏　蒙疆貿易の現狀は輸出一億三千萬圓、輸入五千九百萬圓となつて居り、輸出の中には西北方面の羊毛引出しのための圓貨輸出一千三百萬圓が含まれてゐる、輸入も西北よりの羊毛、阿片等を三千六百萬圓ぐらゐ含まれてゐる、總額の三分の一はソ聯に屬する西北貿易である、我々に必要なことは西北貿易の安定であるが、これは對外貿易の確保である、對外貿易は主として天津の外國商社に掌握されてゐる、さういふ點からも天津租界問題、法幣問題が慎重に考慮されねばならぬ、かやうな見地から貿易統制に依り蒙疆への貿易を安定せしめたいと思つてゐるが、そのために接壤地域の北支には多少迷惑をかけるかも知れぬが我々の眞意を諒解されたい

阿部藤造氏（又一株式會社專務）　滿洲國の關稅は現在のところ先づ完全に近いと思ふ、支那の關稅は六月一日改正され排日關稅は是正されたが、實際問題として品種及び關稅率については未だ研究すべき點が多いと考へる、滿洲を基準として改正が望ましい、金單位制も一日も早く撤去されたい、滿支への綿布輸出禁止は爲替關係から設備能力を持つてゐながら出せないのであるから第三國貿易を支那で制限してもらへば日本から出せるのであるから、この點研究して欲しい、營業者の滿支への移住——特に南上海大都市については大阪からの移住も相當考慮してゐるからその計畫等について明かにされたい

殷同氏　關稅改正は全く應急的のものであり、いづれ根本的改正が行はれるだらう、關稅問題を取扱ふ財政部は漸く最近出來たのであるからこれからどし／＼研究しやう、日本の爲替管理緩和については豫て日本の當局へも要望してゐる（と阿部氏に答へた後）北支と日本との貿易は頗る有望である、北支は今後專ら生產的事業に取かかるのであるから、今後物資の交流が增加するのは當然の歸趨であらう、北支の貿易は今後著しく擴大しなければならないのである、この際第三國の門戶解放の要求の如きは問題ではないではないか

青木實氏　日本の綿製品輸出禁止に依る供給不足對策としては織業聯合會に依り綿製品の輸入を減少せしめ配給の圓滑、價格暴騰の防止を圖らしめることゝしてゐる、滿洲の統制は決して既存業者の排擊でなく、新事態に對應し既存業者の營業を圓滑ならしめるためである

第四分科會（交通）

座長　日本船主協會會長　村田省藏氏

（十一月廿七日午後三時四十分開會　同五時五十分散會）

東洋の海運は日本に一任せよ、

村田座長　本分科會の持つ範疇は頗る廣範でありますのに對し審議時間は非常に短いから大體一人十五分見當でお願します、先づ高橋さんから御意見の發表をお願するとし引き續き日本側の方が濟みましてから滿洲、中國の方に願ふといふ順序で進み度いと思ひます

高橋　勇氏（東洋汽船社長）　昨日の事ですが私は殷同さんと間違へられて仕舞つて自分自身で成る程と思ふ位でしたまあ宜敷く御願します、先づ第一は中國側の御協力を願ひ度いのは租界回收問題であります、今後假令長期になつても實現させねばならないものと思ふ、又海運は日本に任せて欲しい

山本武夫（郵船大阪支店長）　先づ日本海運界の世界的優秀性を御認識願ひ度い、從つて當分は日本に任せて置いても良いと思ふ治安維持に復興建設に當つても先づ交通が最も必要なることで現に諸外國も要求してゐる諸問題は交通に關係を持つてゐる、即ち長江の開放上海河底の淺渫等皆これである、對中國貿易は我國は世界一位であるが海運の方は左樣には優勢ではない、即ちその內容は外國航路に比較して見ると英國は四一%、日本は三〇%、中國八%である、內國航路に見ると英國は四一%、中國並に日本は一五%である、これを判り易くいへば英國七、支五、日三といひ得る狀態であるから、東亞新情勢に應じ日本の持つ優秀海運勢力を充分に利用して欲しい、又これが正しいことである

こゝで希望したいことは現在沿岸に繋船されてゐる船舶に第三國旗を使用するといふことより早く日本と提携してこの變態的狀態を解消させたいことである、これがため株式會社組織が考へられる、日本の會社法を信用されて良い、稅關は完全に接收されたが然し納稅の場合橫濱正金がこれを受納するが現在の所では未だ興銀その他が取扱をしてゐるこれは在來の慣習を續けてゐるもので問題は些細ではあるが將來を考へる時は是正すべき問題の一である、

最後に希望するのにこの種の會合を今後何回も開かれ度いことである提案致します

川上胤三氏（川上回漕店主）　陸上交通、特に北支、蒙疆方面に就いて述べます、支那の交通は北支より南へと發達し東西には何ら發展の跡を見てゐない、今回の新事態に應じて東への交通問題を充分考慮しなければならないと思ふ、北支交通會社の運營に當つて來訪代表諸氏の御考慮を願ひます

伊澤道雄氏（滿鐵理事）　今次の事變で支那全土における鐵道損害は約十億圓といはれてゐる、然しその後北支の鐵道の回復は著しく現在、日五萬噸以上の輸送を告げてゐる

次に唯今御話の東西線建設の問題ですが支那過去五十年間の歷史を見るに殆ど鐵道問題を中心として紛爭が起てゐる、左樣に鐵道といふ問題は重大なので蔣政權も勿論非常な努力を拂つたが滿鐵も然りです、然し中國の鐵道は近年において激增したので實に貧弱なものでこれを詳細に見ると國有が八千百キロ、民有が五千二百キロで實に一萬粁程度のものであり、他の國家に比較すると問題にならぬ程で斯くの如きでどうして產業開發が出來るか、この貧弱なる現狀を打開するのは頗る重大な問題である、日本の協力が最も必要なるは論を俟たない既に我鐵道界は東西線の建設に依る船運との連絡或は從來鐵道の改良に對し全力を擧げて努力を續けてゐる、これは我國に課せられた使命として今後も努力する、現に大同炭輸送に對しても能力の增大に努力中であり期待されたい

野村治一良氏（北日本汽船社長）　東洋の海運は日本に任すことを更に強調する、次に上海新市街建設に當つては交通の將來を充分研究になつて欲しい

鹽山泰夫氏（石原產業海運常務）　大連輸送施設の改善に就て述べるが、同所は苦力に頼り過ぎてゐるので能率といふ點から考へると今少し機械的にしベルトコンベヤーを利用するとか立體的なものにして欲しい、次に天津の白河の改良である、これは私見であるが白河改良に對しては古くより僅か和蘭人技術に依り續けられてゐるが、これは不熟な要面があると思はれる、故にこれは調整なり要するに日本技術によつてこの事業を完成させて欲しい、これがために調査會等を設けらるることは良いと思ふ、運輸術の改良も非常に肝要なことであらう

殷　同氏　租界回收は中國を擧げて贊成である、占領地域の擴大に對しては私はその立場上何とも申し上げ兼ねる事情にある、株式會社に對する中國人の觀念は僅かに違つてゐる、即ち中國人は零細資金の醵出といふ形式が多いのでシンジケート等の如くものを對象とするに反し個人投資の對象たる株式會社はどうも人氣がないやうである、次に私の意見を申し上げる、先づ鐵道建設であるが新事態に應じてこれは根本から計畫を樹て直さねばならぬと思ふ、現在敷設されてゐるものに檢討を加へるつもりである、道路構築も河北省にては目下

五ヶ年計畫を樹て工事が進んでゐる、これは私の年來の計畫である、次に運河である、これは二千年來の問題である、今日の事態を迎へ交通問題で一番早く解決出來るのは運河であらうと思ふ、港灣問題に就ては青島が優秀である、上海は御承知の通りであり一番問題となるのは天津港であり、これは白河に關聯する譯である、これに就ては私は色々計畫を有し根本的に改良する豫定である、永定河の砂防事業が完成すれば相當効果があるつもりでゐる、この根本計畫に就ては既に完成し後は具體化の問題が殘されてゐるのみである、連日御熱心に御注意なり、御意見を承り誠に有難く思ひます

安宅大阪懇談會委員長　時間が僅かで充分論議される餘裕がなかつたことは遺憾でありましたが御熱心な御意見の開陳があり充分各代表諸氏の意見疎通が達成されたことと思ひます、これを機會に今後共日滿支提携に就き御盡力をお願ひ致します

總會（報告、聲明）

（十一月廿八日午前十時開會
正午散會）

興味を先にし統制は後廻しに

殷同氏（臨時政府行政院建設總署長官）　日滿支經濟大阪懇談會三日間に亙る論議が有益の實を納めたことは同慶の至りに堪へぬ、こゝで支那産業、經濟の建設に就て極めて抽象的ではあるが、私見として參考の一端を述べてみたい、その一つは産業、經濟の統制の問題である、事變以來經濟界に大きな衝動を與へ、當然の問題として統制問題がとりあげられつゝあるが、現在の事態では支那の産業、經濟界の事情は統制に適合するまでには立ち至つてゐない、支那に於て統制を必要とする場合は第一に既設事業が餘り多過ぎ亂雜となり衝突する事態に立ちいたつた場合、第二に事業が無計畫的に多數計畫され取締に不便を來したとき、第三はすでに起らんとする事業が國家の方針に反する場合の三つで、現在の支那の事情にはこの現象が一つもあらはれてゐないから早急的に統制をやる必要は毫もないと思ふ、統制は一つの恐怖心を起さしめ決して産業を起さしめるものでない、現在の支那に必要なことは支那人は日本人のやうに産業、經濟的にまだよく訓練されてゐないから充分景氣が出るやうにしてやり、事業に興味を持たせるやうにすることが大切なことである、從つて事業界をして興味を持たしめ企業的機構が備はつてから統制を實施すべきであると思ふ、最初から産業、經濟界に統制を以て臨むことは事業界を委縮せしむる結果となる、次に獨占事業であるが、獨占は事業を消化し得る實力を有するものがやらんと弊害が多く、また多くの事業が獨占的に行はれることは滿足な結果は得られず、一事業形態が多くの事業を獨占することは現在の事態に於ては事業の發展を阻害し、事業界から緊張味を奪ふことゝなり、これまた事業を沈滯せしむることゝならう、それに獨占は競爭者がないために横暴に流れることを恐れる、獨占は寧ろ弊害のみ非常に多く事業の獨占經營には慎重なる態度が肝要である、それに斯かる事柄は延いて政治的にも影響するところが多いので熟慮すべきであると思ふ

入間野武雄氏（大藏省銀行局長）　日滿支經濟懇談會が日滿支の有力者を一堂に集め經濟上諸般の問題をとりあげ懇談を進めてきたことは、日滿支經濟ブロックの確立、その進路を多分に示唆するものとして大なる意義があつたと思ふ、と同時に經濟のみならず精神的連繫の實をあげたことを考へるとき欣快の至りに堪へぬ、今次聖戰は日滿支の協調、建設、東洋平和のため、世界人類の福祉を増進せしめんとするものに外ならず、この意味に於て經濟問題の解決は緊急事であり、長期建設は今後に殘された問題である、これを解決し促進するものは日滿支の共力以外にはない、融和、結合、一身同體となることが絶對條件であり、こゝに懇談會の意義があり、又事變目的達成の意味が存する、今後も更にこの種懇談會を重ね所謂事變目的達成、思想的融和結合を圖るべきである

片岡安氏（大阪工業會理事長）　三日間に亙る日滿支經濟大阪懇談會を終へたことはその有意義的なることに於て欣びに堪へぬが、聊か機構不充分と思はれる資材の缺乏問題に就て愚見を述べてみたい、東亞經濟ブロックの確立には最大、最緊急事は資材の缺乏と云ふことである、智能的、技術、資本力乃至は結合力に於ては申合がないが、たゞ問題となるのは資材の缺乏といふことであり、これを解決せずして東亞經濟ブロックの確立、推進性はあり得ない、これに寄與

すべく聖戰を進めてゐる、從つて日滿支經濟懇談會の必要は資材の缺乏を解決するに充分の機能を必須ならしめるものと思ふ、實に東亞民族が結合するに於ては英、米その他諸外國何等恐るゝに足らぬ、滿洲の資源開發もそのためであり、北、中、南支の資源開發の問題をとりあげ充分の成果をあげるやうに努力が望ましい

閉會の辭

安宅大阪懇談會委員長

大阪懇談會が多大の成果を收めて終了したことは慶賀に思ふ、世界人口の四分の一以上の大衆を擁する日滿支經濟ブロック結成の緊急なることは論を俟たぬ、新東亞建設を議題にした日滿支經濟大阪懇談會の日程三日間は短かつた、しかし相互に協力を誓つたことは大きな力となつたと云へやう、特に中華側に於ては戰爭中に來朝懇談會に出席を願ひ、又日本の聖戰最中にも拘はらず各方面の泰平振りを御覽になつたことであらうが、これは大きな土產として欲しい、本懇談會は日滿支經濟ブロック確立の礎石を築いたものとして將來に對する期待大なるものがあり、極めて有意義的であつた、三國ブロック東亞建設に大阪が非常なる關心を寄せてゐることが窺はれ誠に有難い次第である、中華、滿洲並に日本の各閣下、各位の出席を感謝する次第である

特に谷中部防衛司令官が軍事と經濟との不可分の關係を御諒解になり出席を得たことは重ねて感謝の意を表したい

本懇談會を機に 協會設置案具體化す

日滿支經濟懇談會の結果、東西の財界有力者間に常設的に日滿支經濟連繫の中樞機關を設置せんとする意見が有力となつたが、東京懇談會の議長を勤めた日商會頭伍堂卓雄氏は、早急設置の必要を痛感、大阪、門司の開催當事者と緊密な連絡を圖る一方、近く經濟聯盟會長鄉男の意見を求め早急に懇談會の恒久化を圖り、綜合的日滿支經濟協議機關を設置することになつた、伍堂氏の企圖する意見骨子は日滿支經濟懇談會を組織化し、懇談會のメンバーを以て組織、東亞經濟ブロック確立のため日滿支經濟協會（假稱）を設置する、これには日華實業協會、日滿實業協會等關係諸團體を吸收し今回設置せる日本貿易振興協議會をも吸收する、協會本部は東京に置き大阪、名古屋、福岡、新京、北京に支部を置くことゝし日滿支蒙官民の協力なる經濟諸問題審議調整機關とする

業界要覽

【註】本要覽ニハ昭和十三年一月以降同年十二月ニ至ル一ケ年間ニ於テ日滿工業新聞ニ揭載セラレタル廣告並ニ本年鑑ニ登載ノ廣告ヲ分類輯錄ス

業別索引

	頁		頁
工作機械	579	製鐵、製鋼、鑄造、鍛工、合金	611
喞筒、壓縮機	584	製罐、鈑金加工品	611
汽機、汽罐、燃燒機	586	耐火材料、鑄造用品	613
鑛山、化學並空氣機械	587	熔接機器材料	614
諸機械並附屬品	589	琺瑯、鍍金、熱處理	615
切削研磨工具	594	鐵鋼、地金	616
一般工具、器具	596	線條、發條、金網	620
バルブ、コツク、繼手	600	電氣機器材料	621
パイプ、螺旋管	601	土木建築並材料	624
螺子、鋲、釘、捲拔押物	603	暖、冷房、水道衞生	627
齒車、齒切、傳導裝置	605	石綿、ゴム、パツキング、皮革	628
球軸承	607	化學製品、藥品	629
鐵道、自動車、航空機並附屬品	608	度量衡、計器	632
船舶並船舶用品	610	其他ノ雜	633

水壓機・高壓ポンプ・專門製作

最近納入先

株式會社　芝浦製作所
富士電氣製造株式會社
日本カーボン株式會社
東亞企業株式會社
東海電極株式會社
日產自動車株式會社
東京電氣株式會社

主要製作品目

各種水壓機
高壓喞筒
プランヂアー喞筒
アワキユムレーター
增壓器

合資會社　生成製作所

東京市本所區石原町三丁目三一　電話墨田(74)2227番
第二工場　東京市江戶川區東小松川町三丁目

業界要覽

工作機械

▼井上鐵工所　大阪市北區都島本通一ノ二二△堀川一九三四△高級工作機械

▼井上鐵工所　大阪市西淀川區御幣島町一三五△福島一〇一四△プレーナー專門製作

▼岩田鐵工所　名古屋市中川區中出町一ノ三〇△南五七五〇△バンドグラインダー

▼岩佐鐵工所　東京市森下町二丁目△本所一〇二五△工作機械

▼石垣鐵工所　四日市市坂町△工作機械

▼飯島鐵工所　東京市足立區千住櫻木町三二△足立二九八〇△旋盤

▼稻葉機械製作所　東京市芝區松坂町三六△高輪五一四一△工作機械ポンプ

▼藤々商店大阪支店　大阪市西區立賣堀北六△新町四五三△工作機械

▼龍林實商店　大阪市南區谷町六丁目△東九八三△工作機械

▼林德三商店　大阪市南區內安堂寺町通二ノ十六△東一一六六△機械工具

▼林機械製作所　東京市足立區島根町七一二△足立三八六五△ユニヴアーサルターレットレース

▼林角太郎商店　濱松市板屋町△濱松一一八五△工作機械、土木機械

▼播田幸介商店　東京市麻布區新堀町七△三田二二五九△工作機械

▼半田重工業所　愛知縣半田市前明山△半田三七一△工作機械製造

▼橋本鐵工場　大阪市東成區深江中一丁目△東一一七七△工作機械

▼阪神鐵工所　愛知縣豐橋市小田原町△工作機械製造

▼波多野工業商會　東京市本所區綠町四ノ二七△墨田七六五三△工作機械販賣

▼服部製作所營業部　大阪市港區九條中通二丁目△西七六八四△工作機械

▼濱本機工社　大阪府中河內郡加美村正覺寺△天王寺一四八八△鐵道ト工作機

▼日本ターレット機械製作所　大阪市港區九條南通三△西二二八三△ターレットレース

▼日本サブロー鐵工　大阪市北區梅田新道太平ビル△北二四〇〇△冷凍機械

▼日東機械工作所　大阪市西淀川區佃町五七〇△福島五二五八△旋盤、セーパー

▼日完工作所　堺市向陽町二ノ二八△堺二五三三△高級旋盤

▼日興機械製作所　東京市大森區馬込町東二ノ八九〇△大森六九七九△精密旋盤

▼西尾鐵工所　名古屋市熱田區船田東町桃ノ木町五一△瑞穗一五一〇△工作機械

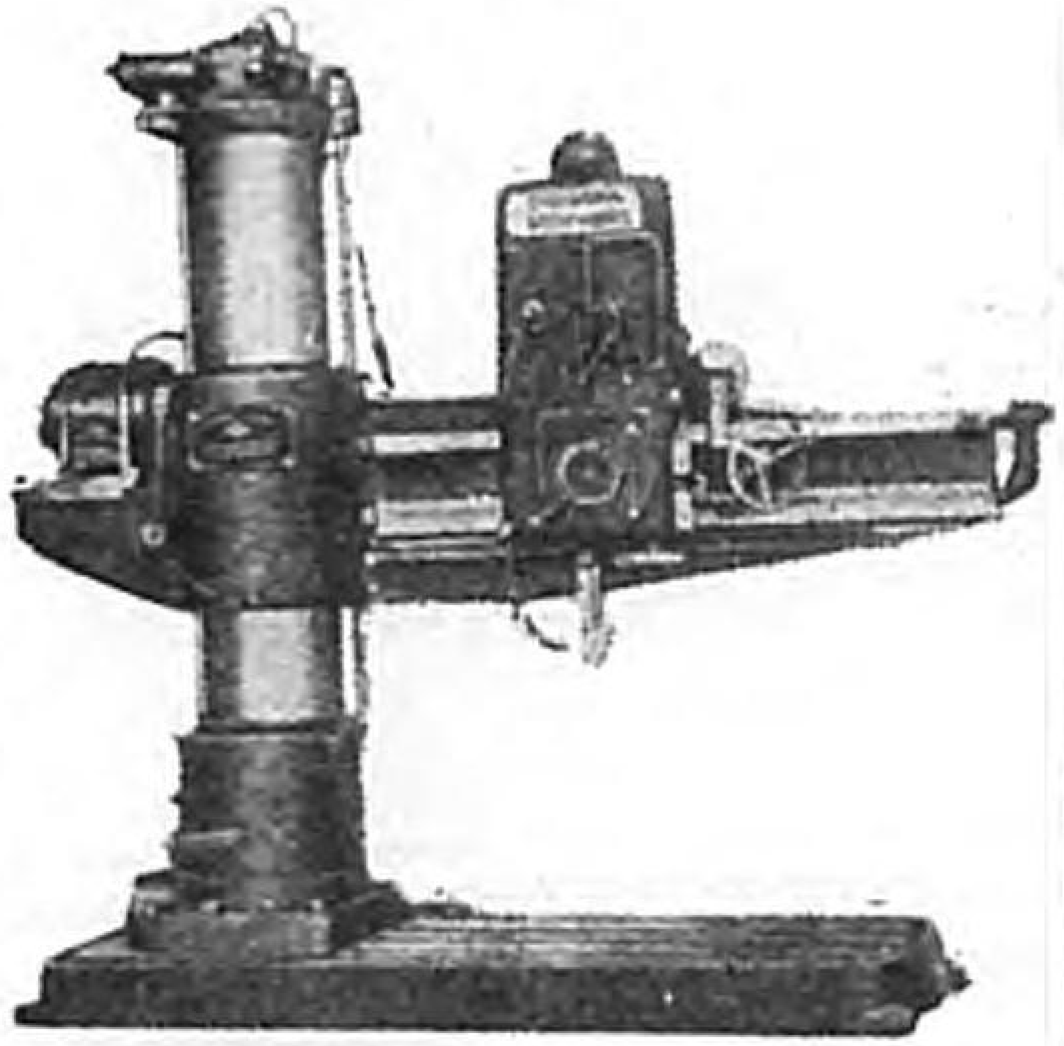
▼堀內鐵工所　大阪市東區東善崎町△東四九〇一△工作機械

▼ベッカー商會　大阪市北區網笠町大江ビル△北三一九五△輸入工作機械

▼ドラゴン機械工場　大阪市東成區森町南二丁目六一△東七四八四△プレーナー

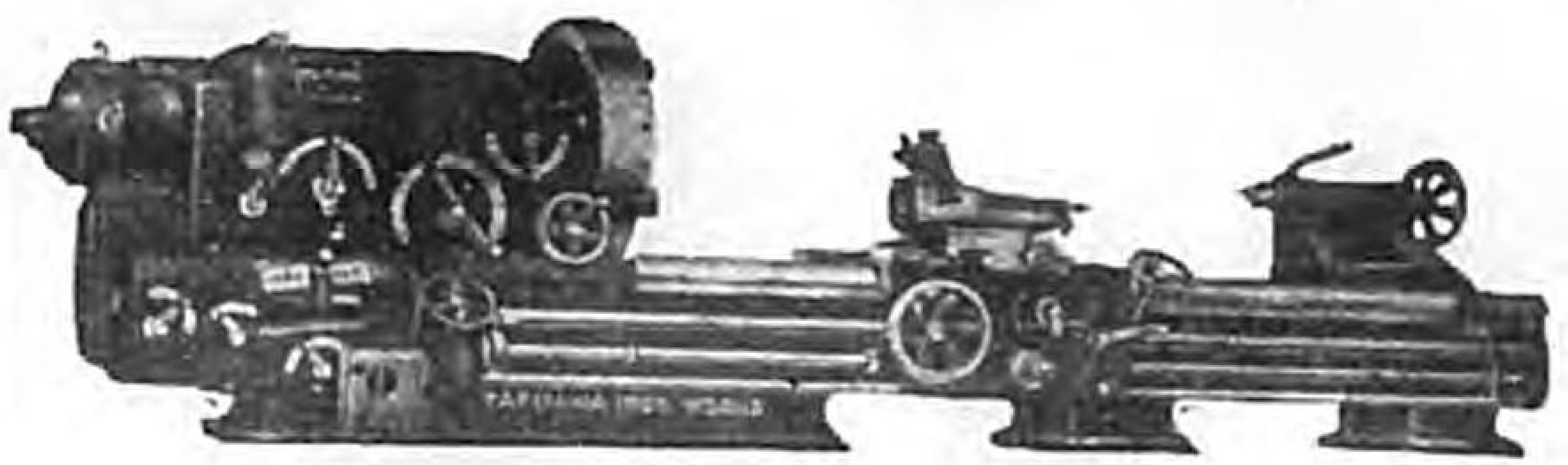
▼東京瓦斯電氣工業㈱　東京市大森區入新井一△大森八七〇二△航空機、工作機、ホキスト
▼㈱東京ステンレス化工機製作所　東京市向島區寺島町六ノ二八△墨田二二二一△米式精密旋盤、セーバー、ステンレス化學機械
▼東京ターレット機械製作所　東京市足立區島根町八八一△足立二六八六△ターレットレース製作
▼東京機械社　東京市日本橋區本町一ノ四△日本橋四一九五△工作機械製作販賣
▼東洋機械工業㈱　東京市蒲田區仲六郷二ノ十四△蒲田三七四一△工作機械、ミーリングマシン製作
▼東洋電動研磨機製作所　東京市板橋區志村小豆澤町六四六△フレキシブルシャフト磨用電動研磨機
▼㈾東洋機械製作所　名古屋市中區岩井通り二丁目大須ビル△南一八五七△工作機械
▼東邦精密機械工作所　大阪市東成區片江町五七八△南二七二八△工作機械
▼㈱東亞鐵工所　大阪市此花區西九條通一〇△土佐堀一一三七△高級工作機械
▼東和機械商會　大阪市東淀川區十三西ノ町五丁目八△北一八三五△高級工作機械
▼戸塚命之商店　大阪市西區江ノ子島東ノ町二二△土佐堀五三五四△工作機械、消切工具
▼富田興三商店　大阪市南區內安堂寺町二丁目△東二四二△工作機械
▼㈾中央機械製作所　大阪市港區市岡元町五丁目六△西三一〇九△工作諸機械
▼大阪岩山鐵工所　大阪市西成區長橋通二丁目△戎六〇一△高級工作機械
▼㈾大阪機械製作所　大阪市西淀川區佃町一六七一△福島一九五〇△高級工作機械
▼㈱大阪機械鐵工所　大阪市東成區猪飼野大通二丁目四五△南三九五二△高級研磨機製作
▼大阪工業㈱　大阪市西淀川區海老江上通り一丁目三六△福島九八四△工作機械、モーター各種製鋼鑄造
▼大橋商店　大阪市南區谷町六丁目三九△東二四一八△工作機械
▼大矢平鐵工所　大阪市旭區関目町四〇一△旭二九四六△高級工作機
▼大塚鐵工所　大阪市西淀川區御幣島町一五二△福島一五三六△工作機械
▼㈱大隈鐵工所　名古屋市西區辻町日出△東八二五七△工作機械
▼大村ミシン工業所　名古屋市熱田區中田町△南四三六〇△ミシン、工作機械製造
▼大山米次郎商店　東京市麻布區新廣尾町二ノ一一〇△三田〇九八四△工作機械製作
▼㈱岡谷商店機械部　西區西長堀北通一丁目一八△新町一六六一△高級工作機械
▼岡本工作機製作所　東京市京橋區銀座三、大倉別館△京橋六一九一△工作機械
▼㈱太田鐵工所　東京市葛飾區上小松町二九六△三田三七六三△旋盤
▼太田フライス盤製作所　東京市品川區大井西濱川町一七三六△大森五八二一△オオタフライス盤製造
▼㈾風谷機械製作所　大阪市旭區蒲生町一丁目六五△旭三六八七△高級工作機械
▼尾崎製作所　名古屋市中區[illegible]町三八番地△南三一八一番△工作機械製作
▼小野五商店　大阪市南區谷町六丁目△各種工作機械
▼小原鐵工所　川口市本町三ノ六四△川口二五九〇△工作機械
▼岡崎機械製作所　東京市葛飾區

高級工作機械



製作品目

各種高級旋盤
ラジアルドリーリングマシン
高級ボール盤
シカル盤セービング
ミーリングマシン
ホツビングマシン
各種高級研磨機



陸海軍指定工場

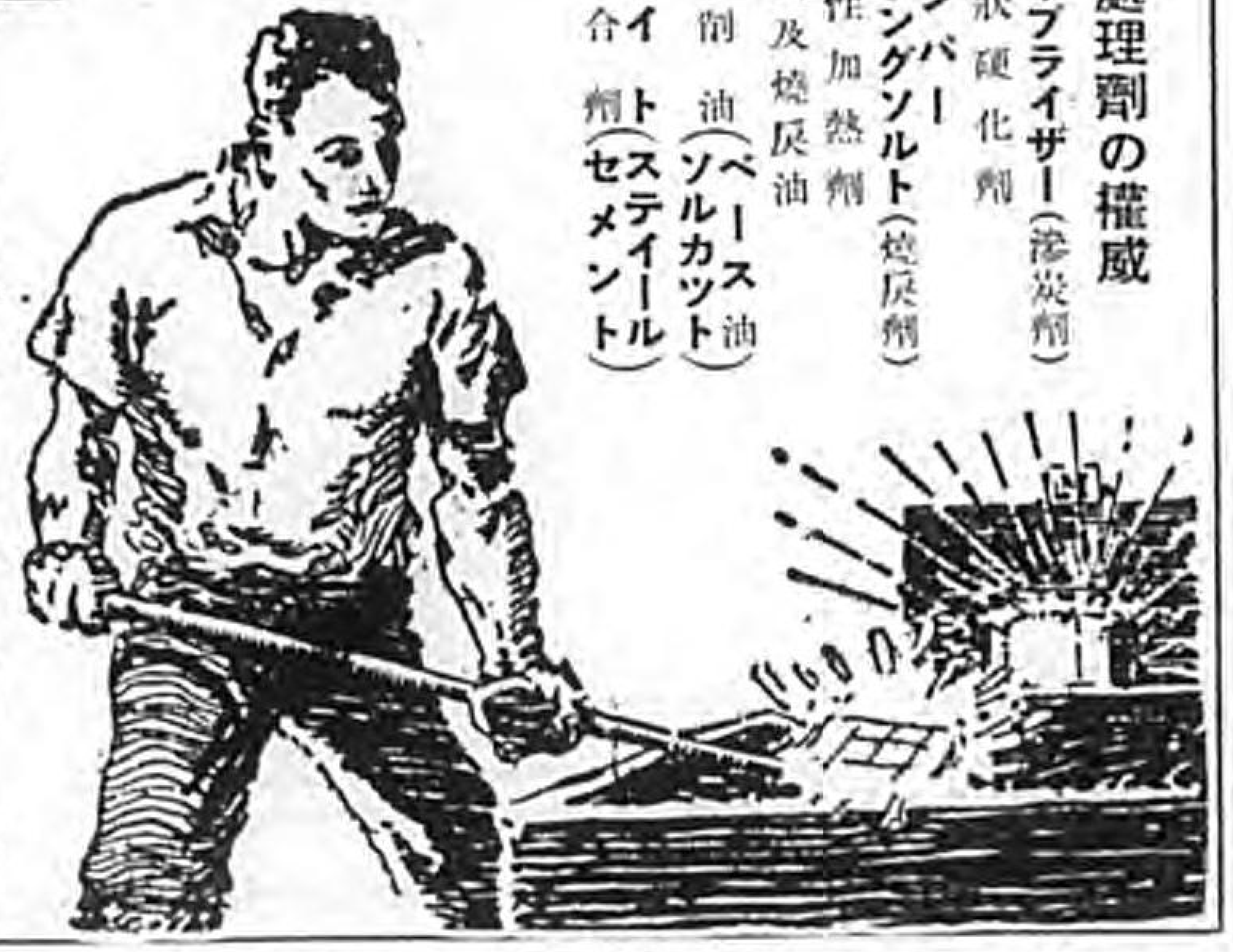
合名會社　**瀧澤鐵工所**

本社　布施市長堂一丁目六五番地
電話南⑬三三六三番・一三九四番
振替大阪四九二三三番・電略（タキ）ヌハ（タ）

大阪分工場　大阪市東成區猪飼野西三丁目二・電話天王寺⑦九二二三番
若江工場　大阪府中河內郡若江村五四九・
玉島分工場　岡山縣淺口郡玉島町東新丁・電話玉島一〇二番

熱處理劑の權威

○カーブライザー(滲炭劑)
○波狀硬化劑
○テンパーリングソルト(燒戻劑)
○中性加熱劑
○燒入及燒戻油
○切削油(ベース油 ソルカット)
○バイト接合劑(ステイール セメント)



SANNON

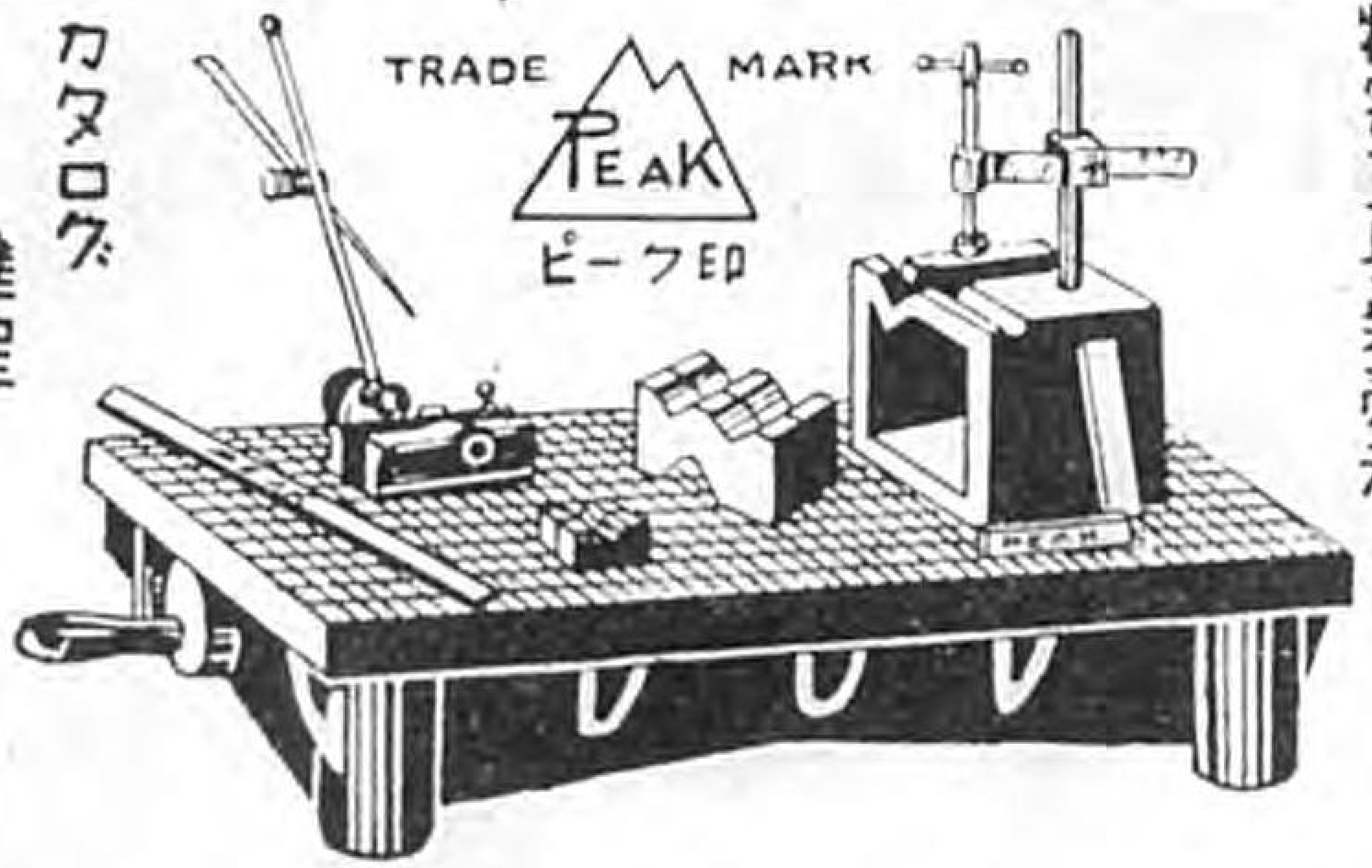
合資會社 三恩商會

本社 大阪市西區[illegible]
東京營業所 東京市[illegible]
名古屋出張所 名古屋市[illegible]

ピーク印

精密工具発売元

TRADE MARK PEAK ピーク印



カタログ進呈

合資會社 三輪謹一商店工作部

大阪市港區九條中通一丁目五八

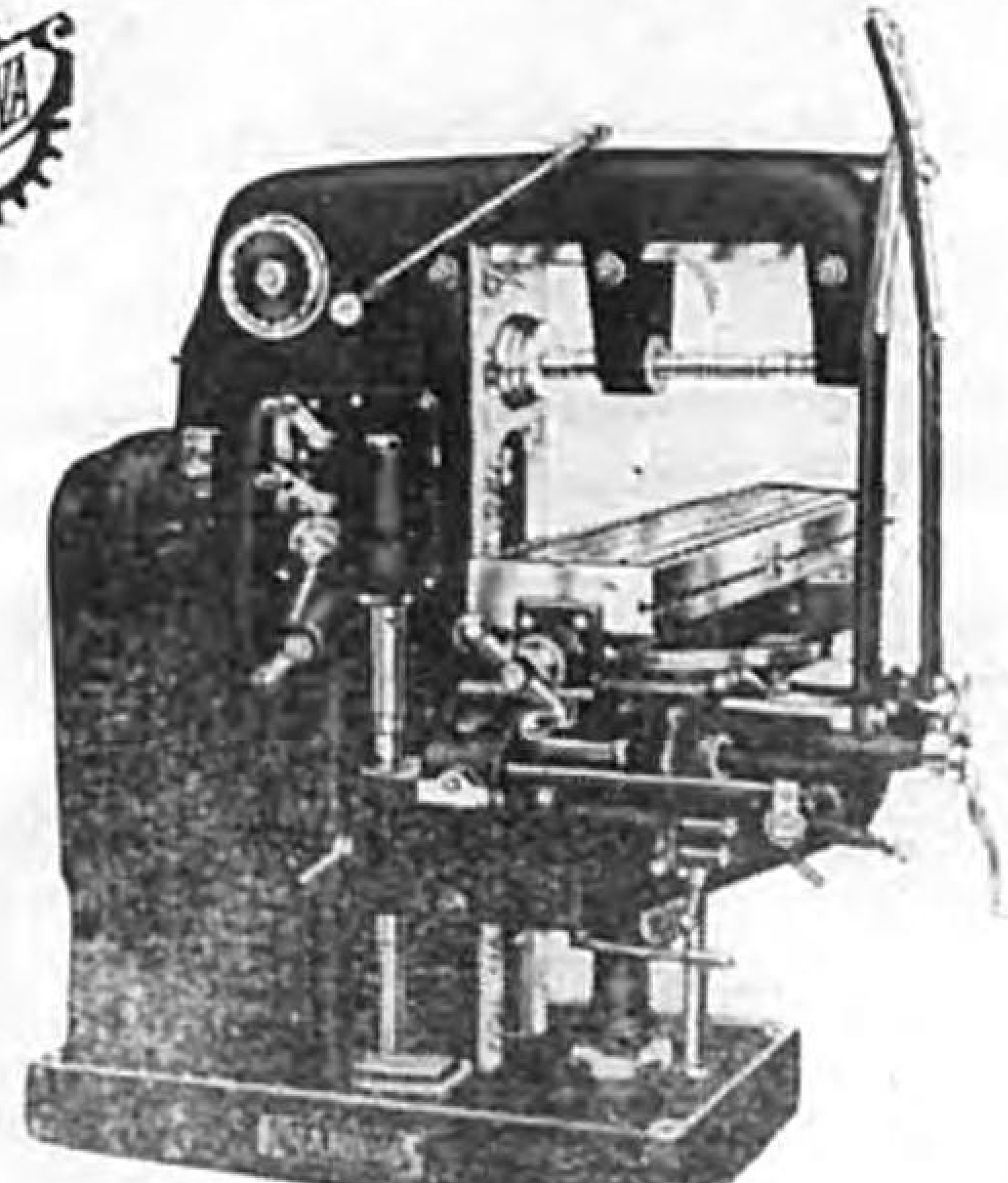
電話西六二五番 振替大阪八九九六六番

NANIWAのミーリングマシン

電動機直結型・單調車傳導型

ユニバーサル	ミーリング	2番、3番
プレーン	ミーリング	2番、3番
バーチカル	ミーリング	2番、3番
プロダクション	ミーリング	2番

精度＝機械學會制定標準規格第一



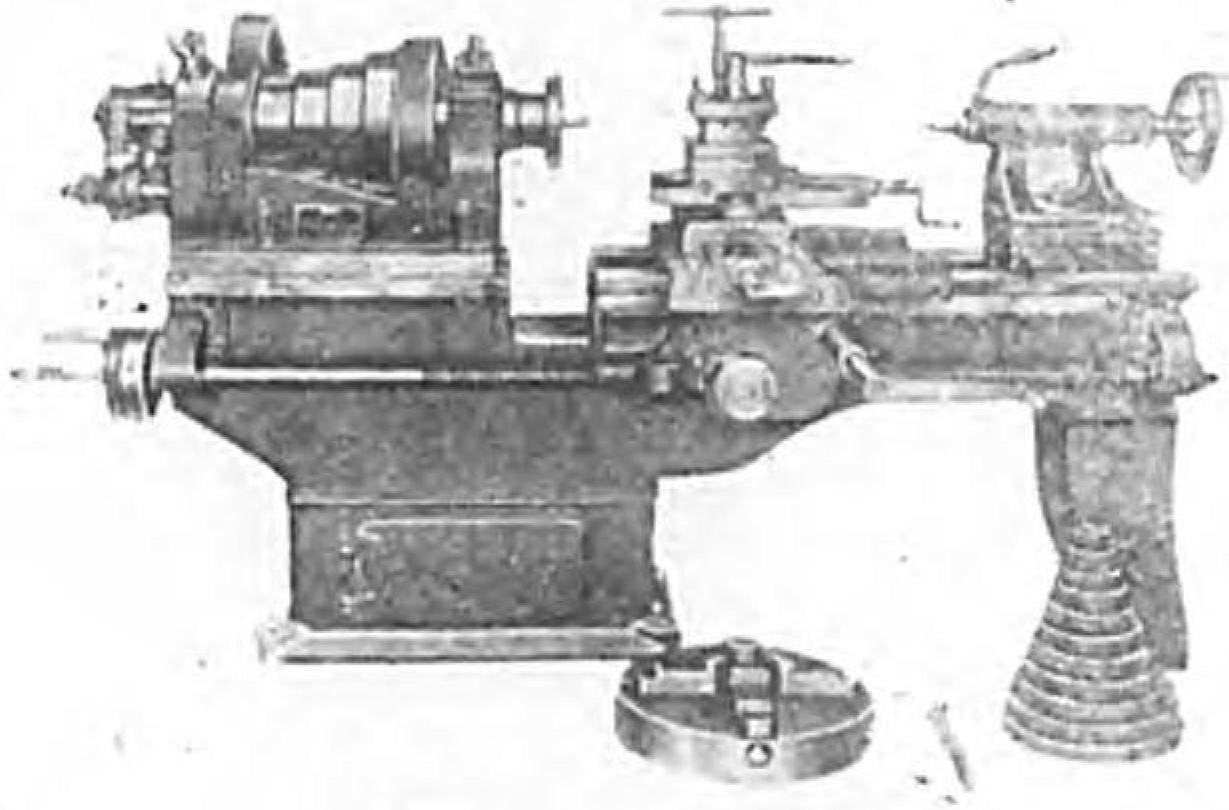
各種高級工作機械

株式會社 浪速機械商會

大阪市南區上本町二丁目

電話東(94)332・1122番

工作機械



大橋商店

大阪市南區谷町六丁目三九　電話東二四一八番

大阪錠前工業組合指定工場

錠前附屬品及小物一式

里井鑄造所

布施市岸田堂二七

電話天王寺三〇四四番

鋼板切斷

新古鐵材

株式會社

奥小路シヤーリング工場

大阪市港區南境川町三丁目一八

電話西㊸（長二三八四番

七九三番

六六〇六番

日本ゼネラルモータース株式會社特約販賣店

豐國自動車株式會社

大阪市此花區上福島中二丁目

電話福島（代表）一一五一番

（自）一一五五番

（至）一一五五番

夜間サービス部專用

和歌山縣副販賣店　和歌山モータース株式會社

和歌山市眞砂町一丁目一番地

電話七七五番

奈良縣副販賣店　奈良モータース株式會社

奈良市油阪町一番地

電話一三六〇番

大連出張所　大連市近江町五二

電話二－九三三番

アルミニユーム
セルロイド
高級印刷及加工

特許、時計、秤、電機計器、各種文字板
ラジオダイヤル、門標、食券、合札、看板、徽章
其他アルミニユーム、セルロイド各種容器

新案永年カレンダー製造發賣元

登錄商標

明工舎

明(アケ)渡(ド)政太郎

大阪市東區釣鐘町一丁目
電話東593番・578番
振替大阪5056番

營業種目

鐵道省、滿鐵御指定・客車用第三種フエルト
各種車輛用フエルト・松下式耐熱保温用フエルト
松下式黄麻布入フエルト・松下式綱目フエルト
松下式縞目フエルト・建築用フエルト
保温保冷用メエルト・其他各種牛毛羊毛フエルト
專門製作

生産量第一　價格低廉

鐵道省指定工場
松下フエルト工業合名會社

大阪市浪速區西濱北通四丁目二四
電話櫻川㊽二三五一番

NK

工業用ゴム

中川ゴム商店

大阪市西區靱南通四丁目五番地
（市電岡崎橋交叉點東入北側）
電話土佐堀五六八〇・六七〇九番
振替口座大阪五六八番

TRADE MARK
TYFS

友延窯業所

本社工場　岡山縣和氣郡伊里村大字友延
電話伊里十四番

營業所　大阪市此花區北安治川一丁目八
電話土佐堀二八六・〇番

營業課目

紡績機用
農具用
自動車用
計量機用
車輪用
航空機用
船舶用
藥器用
玩具用
諸機械用

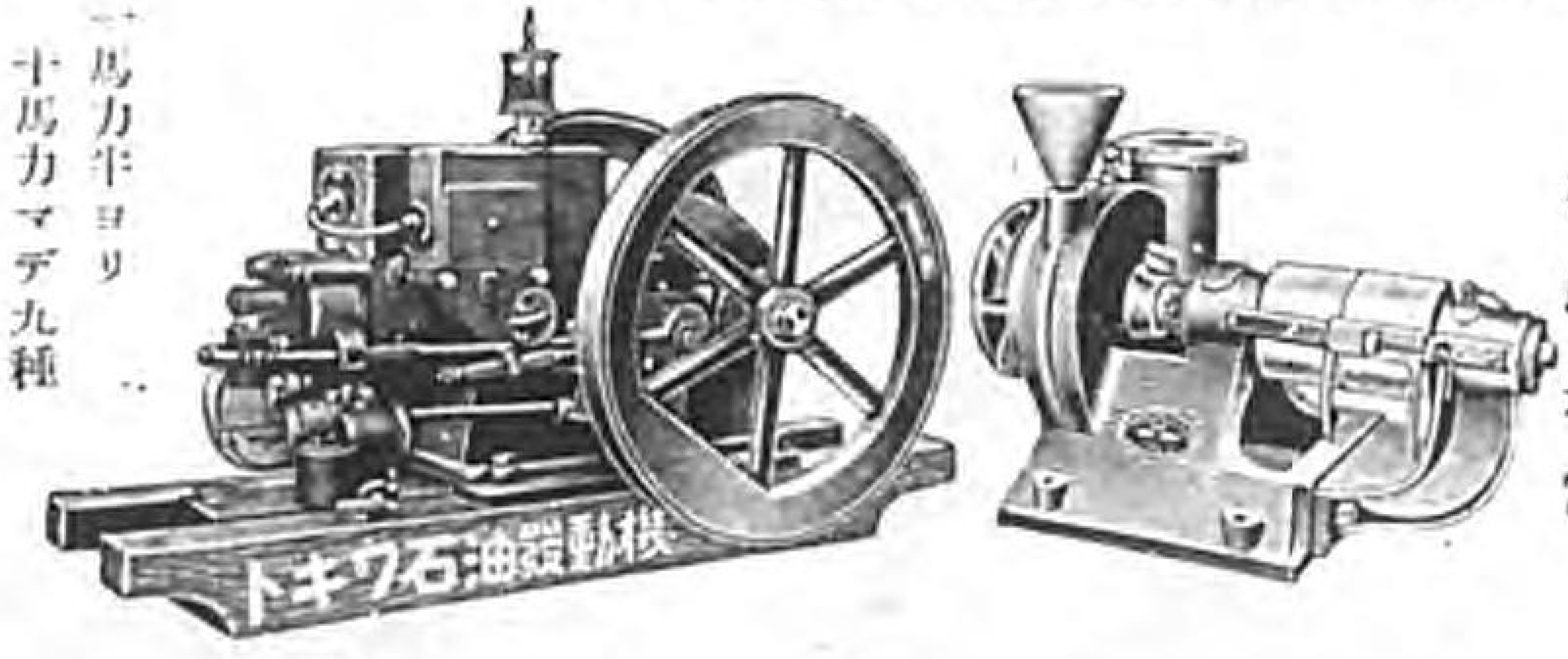
内田スプリング製作所

大阪市西區北堀江一番丁六番地
電話新町㉓2236番 振替口座大阪84013番

農林省唯一推薦機

トキワは日本一の
經濟的・發動機・ポンプ

一馬力半ヨリ十馬力マデ九種



一吋半ヨリ五吋マデ
在庫豊富

合名會社 双益商會

大阪市東成區東今里町三八九　電話東五一〇二番

高級工作機械 専門製作

廣岡鐵工所

大阪府布施市高井田中一丁目十四番地
電話布施一一四二番

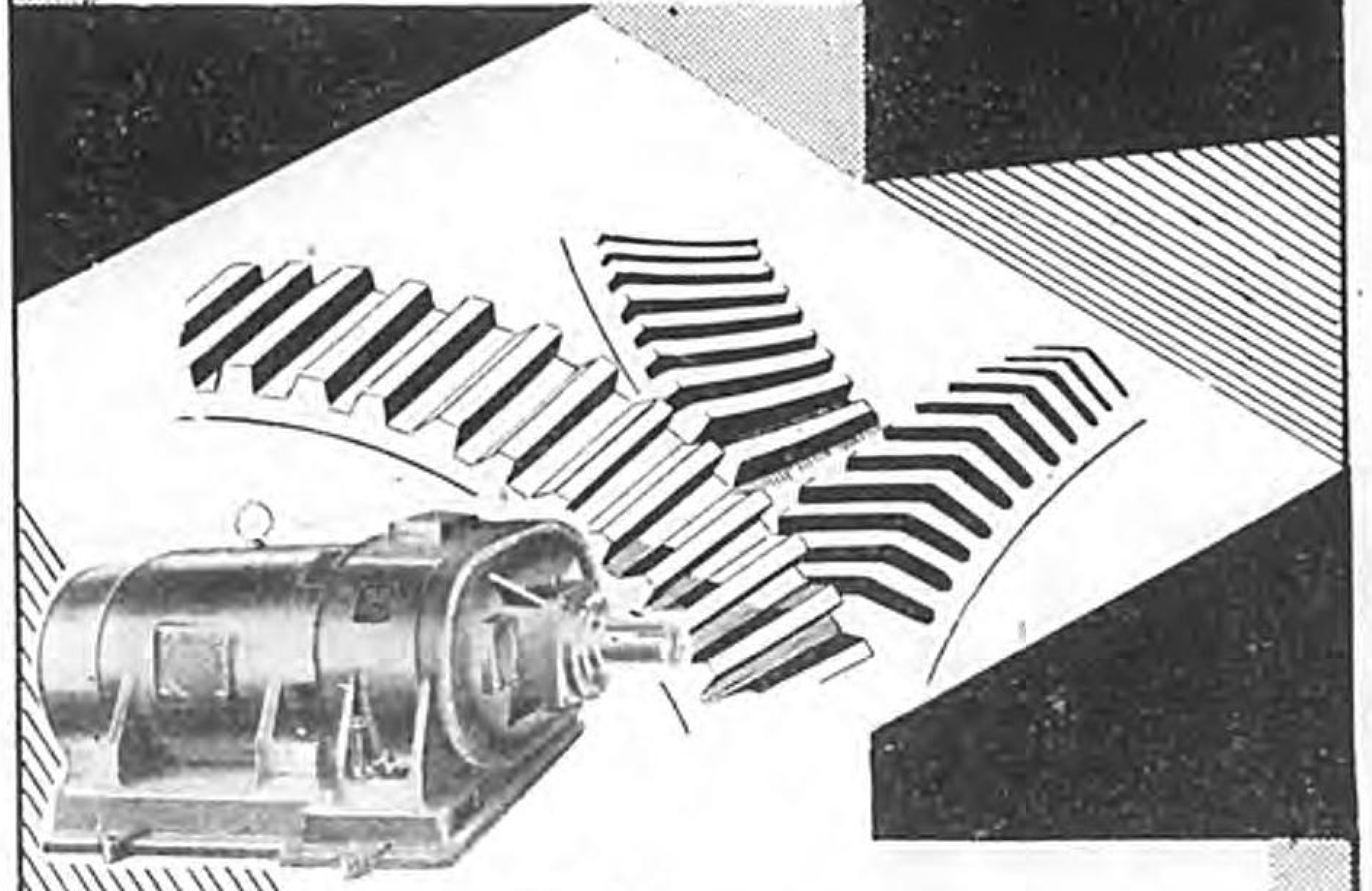
製藥原料
中間物一般
香料原料

堀端榮一商店

大阪市東區道修町四丁目

電話北濱㉓五一七二・五八七七番

特種歯型
各種歯車
切歯
各種歯車ポンプ製作



(特許出願中)
球歯螺旋歯車式減速機
能率最高・減速比大
大馬力傳達ニ特徴ヲ有ス
(乞御照會)

精保歯輪工作所
大阪市此花區今開町一丁目一〇二
電話土佐堀⑮4156番

カウベ・バッテライト
蓄電池式照明燈

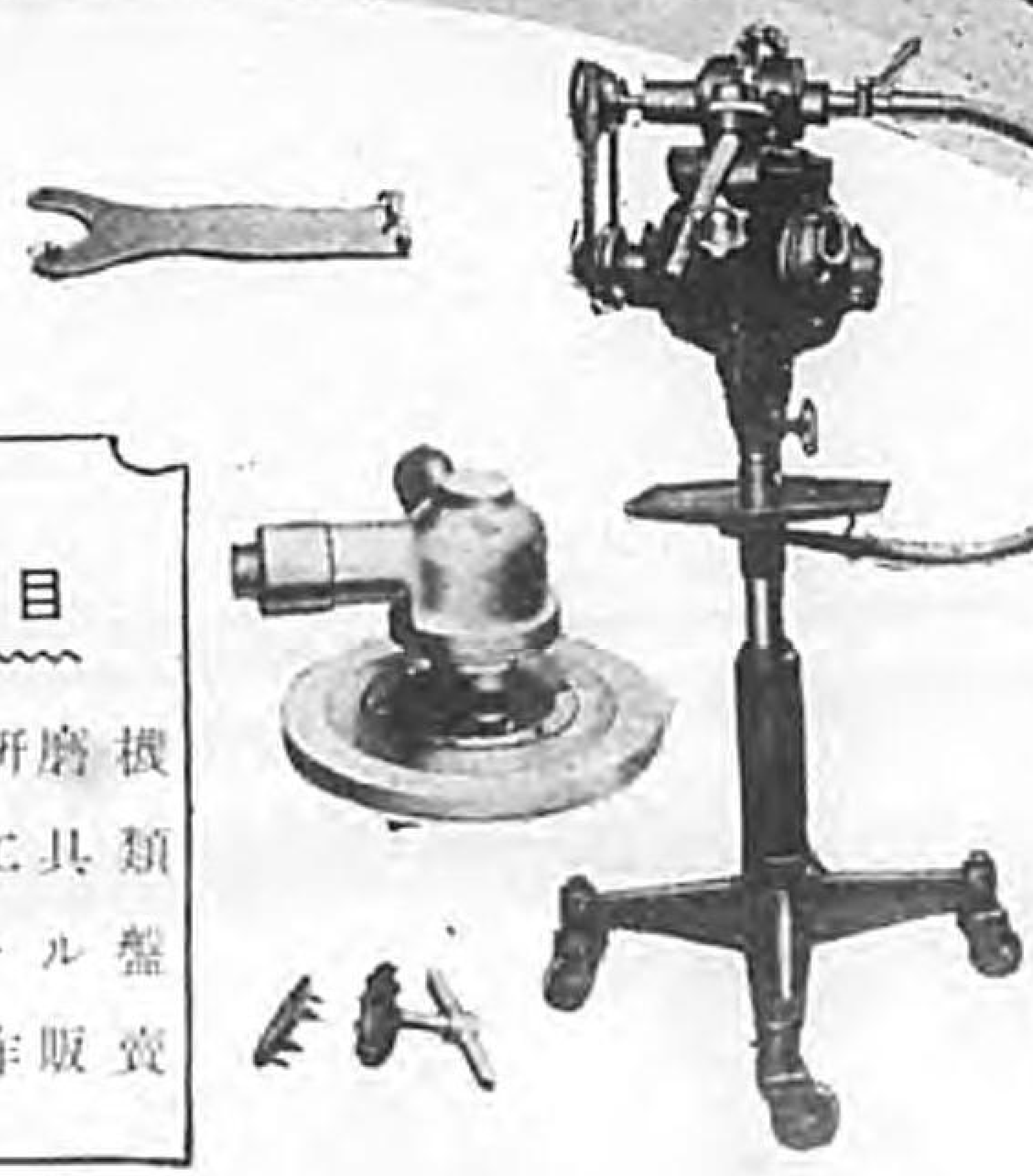
カウベ蓄電池 各種 カウベ電器具 各種
株式會社 神戸電機製作所

精密ネジ
糸ネジ ナット
製造販売

阪尾信太郎商店
大阪市西區北堀江通六丁目一番地
電話新町㉝三四九三番

電動工具！

OTD



営業種目

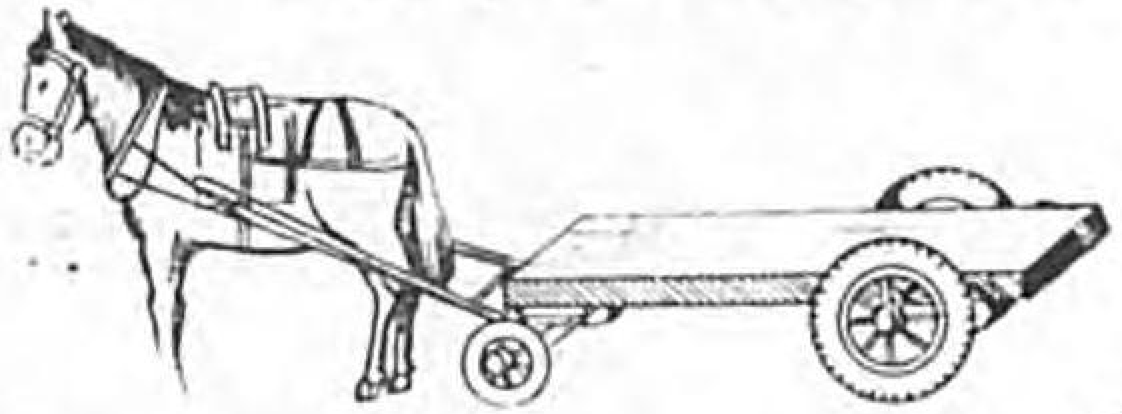
可撓軸電動研磨機
可撓軸電動工具類
研磨機ボール盤
其他設計製作販賣

松村特殊電動工具製作所

大阪市港区九條中通四丁目三四〇
電話 西 七〇五八番

國策に準じたる馬匹改良諸運搬車用

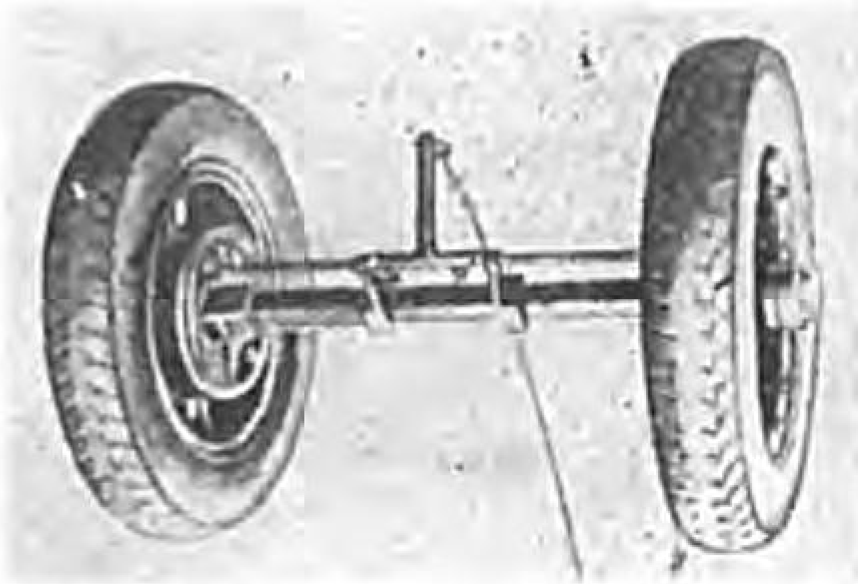
特許ホイルの出現



積荷重量二千貫迄
絶對引受け

川本式特許荷馬車ホイル

特殊の合金優良材料を以つて製作す依つて十五年以上完全使用に耐ゆ



御申込次第カタログ進呈

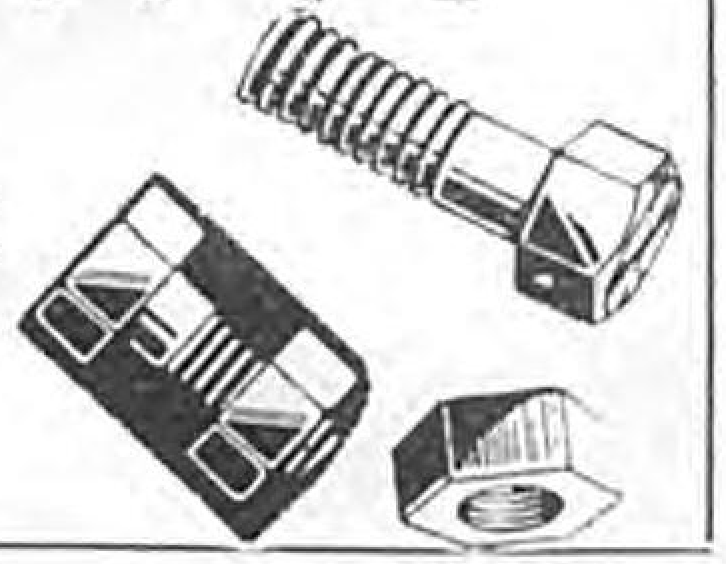
川本式徳用特許ホイル總發賣元

大阪ホイル商會

大阪市港區九條南通一丁目二三
電話西㊀代表六一二二・夜間用四七六四　振替大阪四三七〇四番
工場　名古屋市中區大池町二ノ二六

精密捻子・ボールト・ナット専門製作

合名會社 伊藤製作所

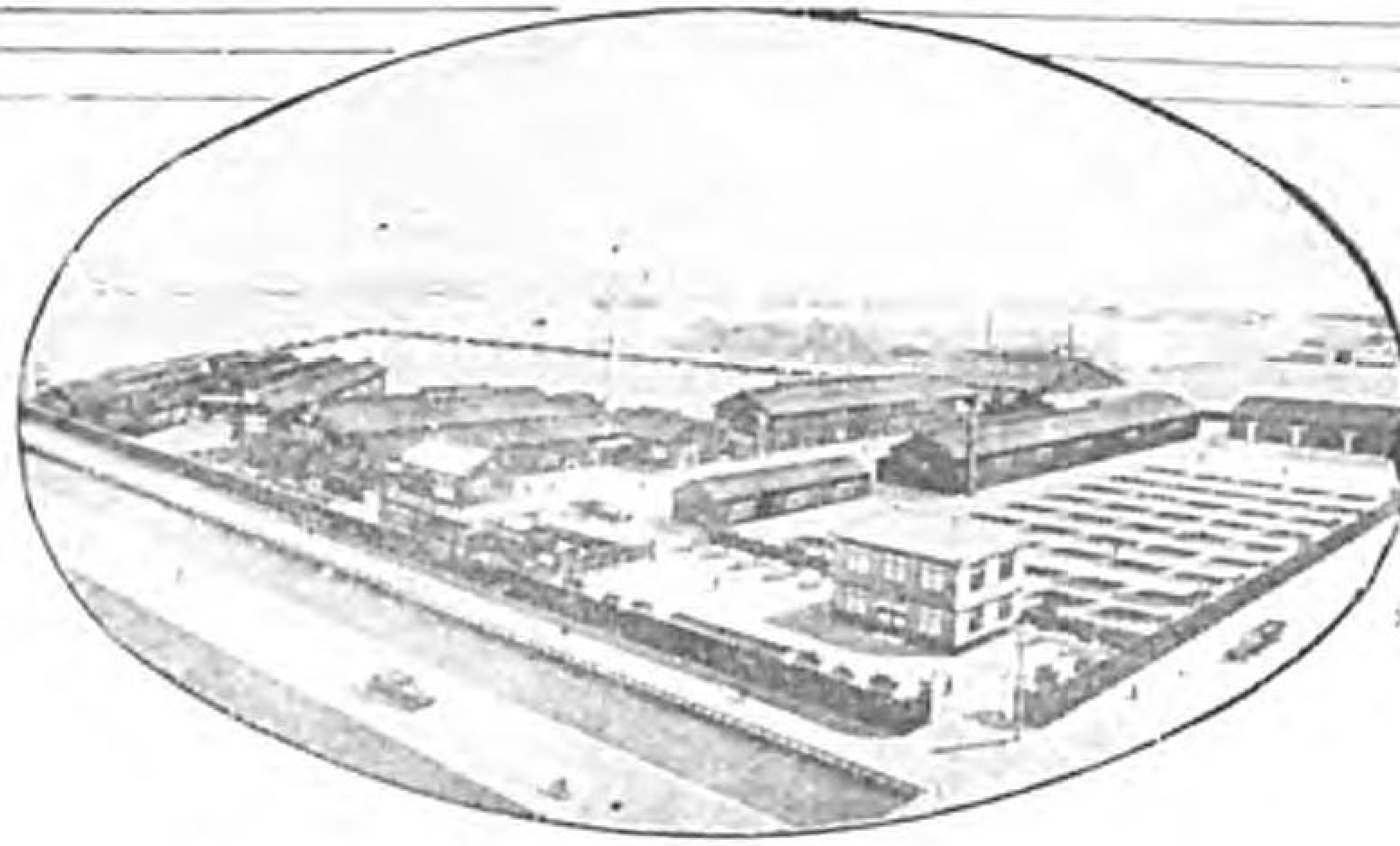


大阪市港區九條南通一丁目
電話西㊀ 六一二番 四七六四番

フエルト

営業種目

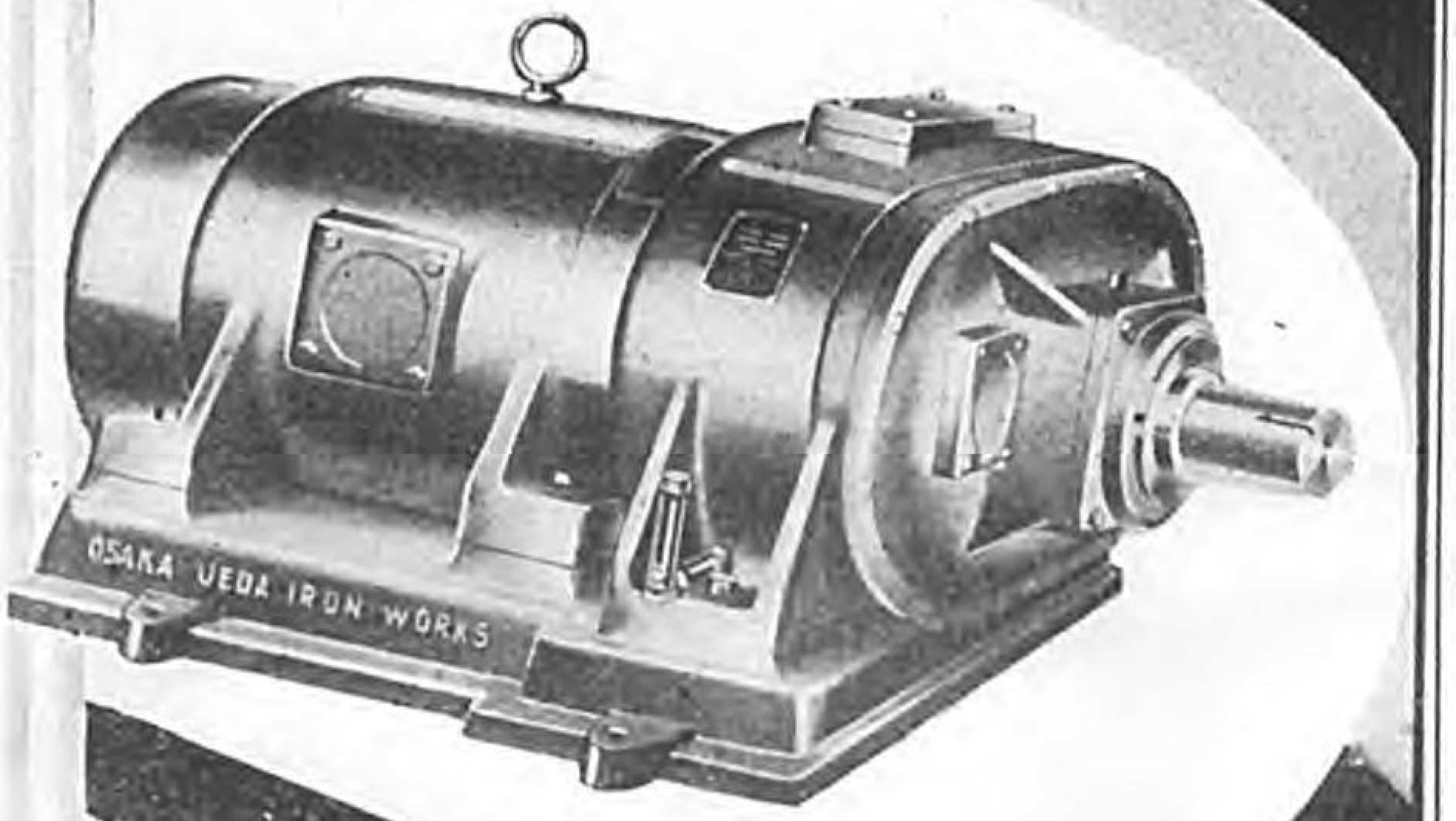
各種牛毛フエルト
各種羊毛フエルト
保冷保温工事設計及施行



合資會社 大阪フエルト工業所

營業所 大阪市此花區上福島北二丁目八六
電話福島㊺二二六五番
工場 阪神沿線鳴尾
電話西宮二八八番

植田式 減速装置



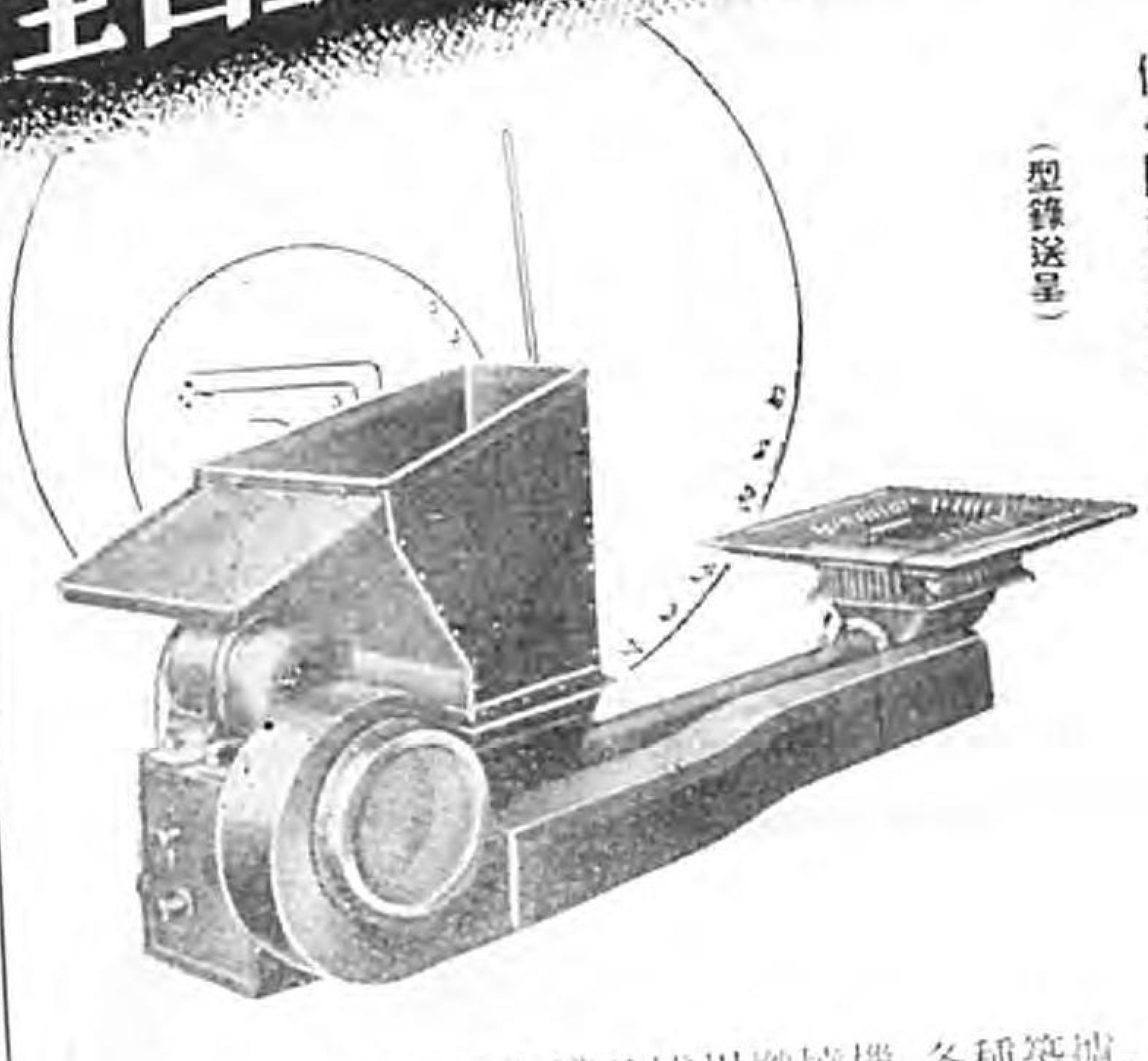
陸海軍省認定工場

植田鐵工合名會社

營業所 大阪市浪速區蘆草町一一二八番地
電話櫻川㊹六八七・五〇二五番 振替大阪一一一五八番
機械工場 大阪市浪速區蘆草町一一二八番地
精機工場 大阪市浪速區芦原町一一九八番地
製罐工場 大阪市浪速區稻荷町二丁目九三三番地

藤田式
全自動石炭完全燃燒機

刻下の使命は
煤煙防止燃料節減!!
備へ國産最高機
（型錄送呈）



營業科目
各種汽罐及爐用燃燒機　各種築爐、設計
耐酸耐熱、各種排風機　（見積歡迎）

藤田鐵工所

大阪市東淀川區田川通三丁目
電話北　一三六一番

陸海機械

鑄造專門
特殊合金

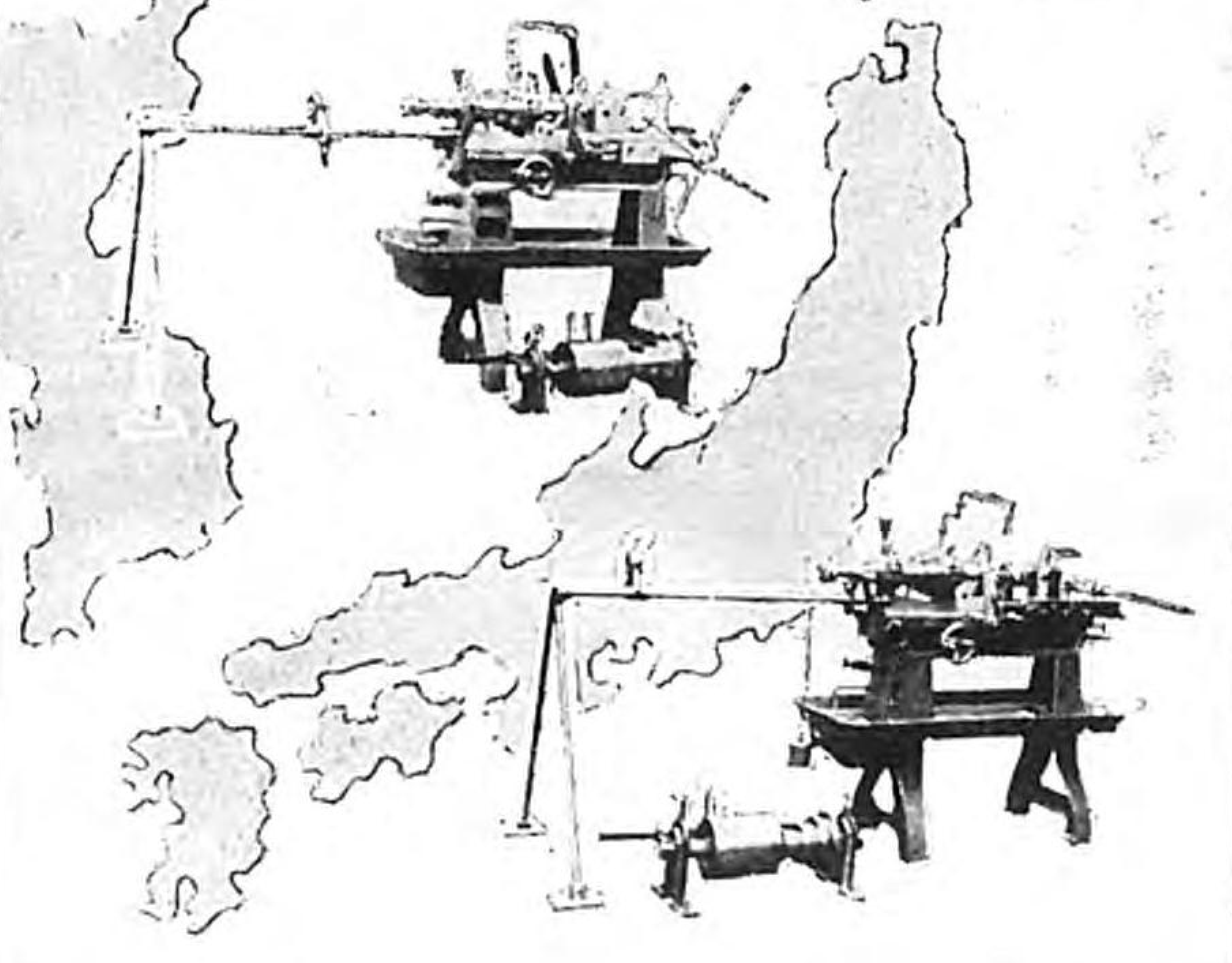
前田合金鑄造所

大阪市西淀川區佃町一三〇四番地
電話福島　五一六九番

商標

金鵄

ターレットレース



日本ターレット機械製作所

營業所　大阪市港區九條南通三丁目六〇八
電話西二一八三番
工　場　大阪市東成區猪飼野町東二丁目三四

フライス盤

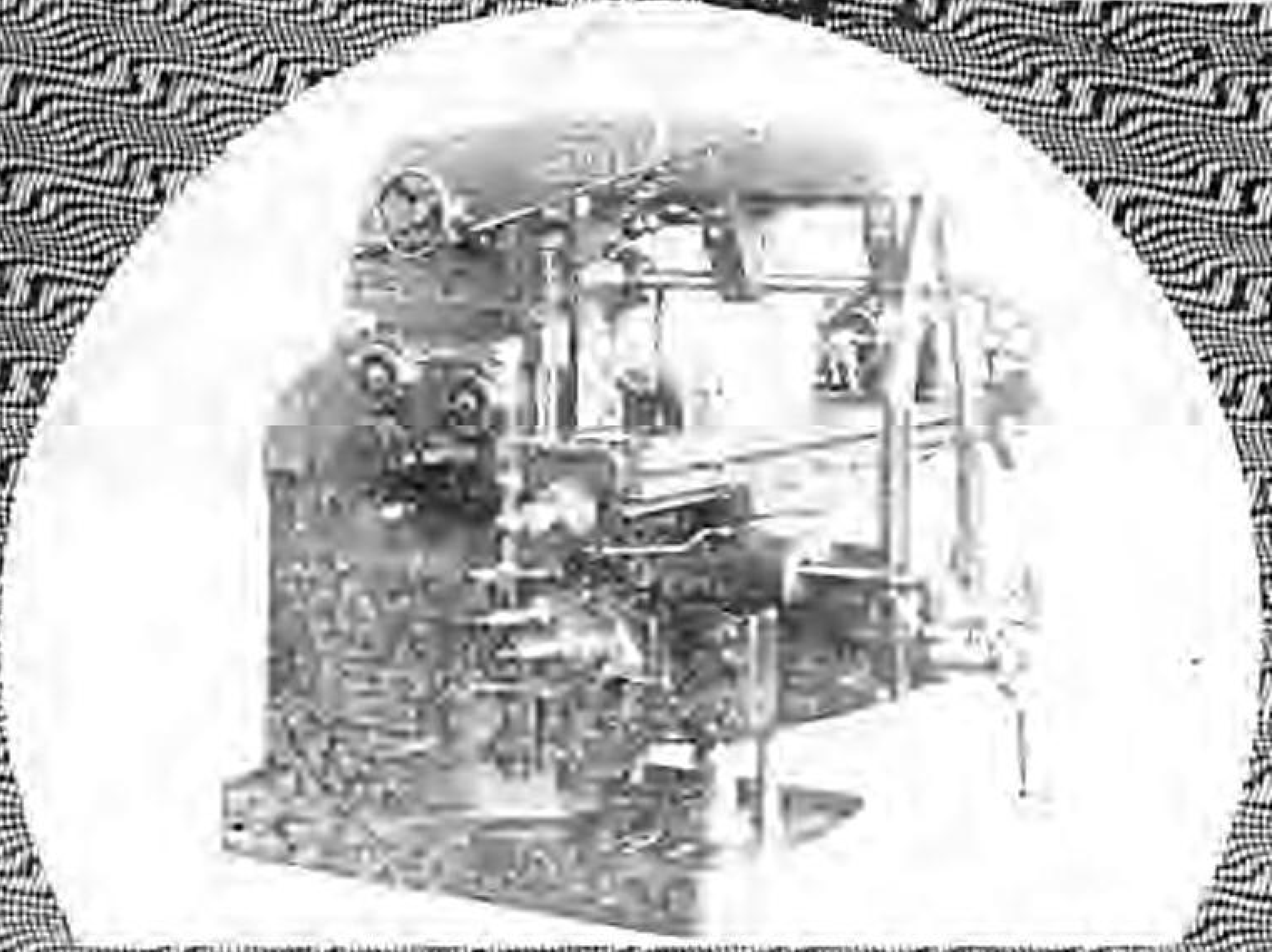
研磨盤

鉄道車輌用
工作機械

専門製作

電氣ホイスト

トカコ



東京市大森區入新井一丁目

東京瓦斯電氣工業株式會社

電話大森（06）自8701至8707

N.S

石綿

營業種目

一 各種石綿原料製品一式
一 高壓過熱低熱用パッキング類
一 耐火保温保冷用品一式
一 ブレーキライニング

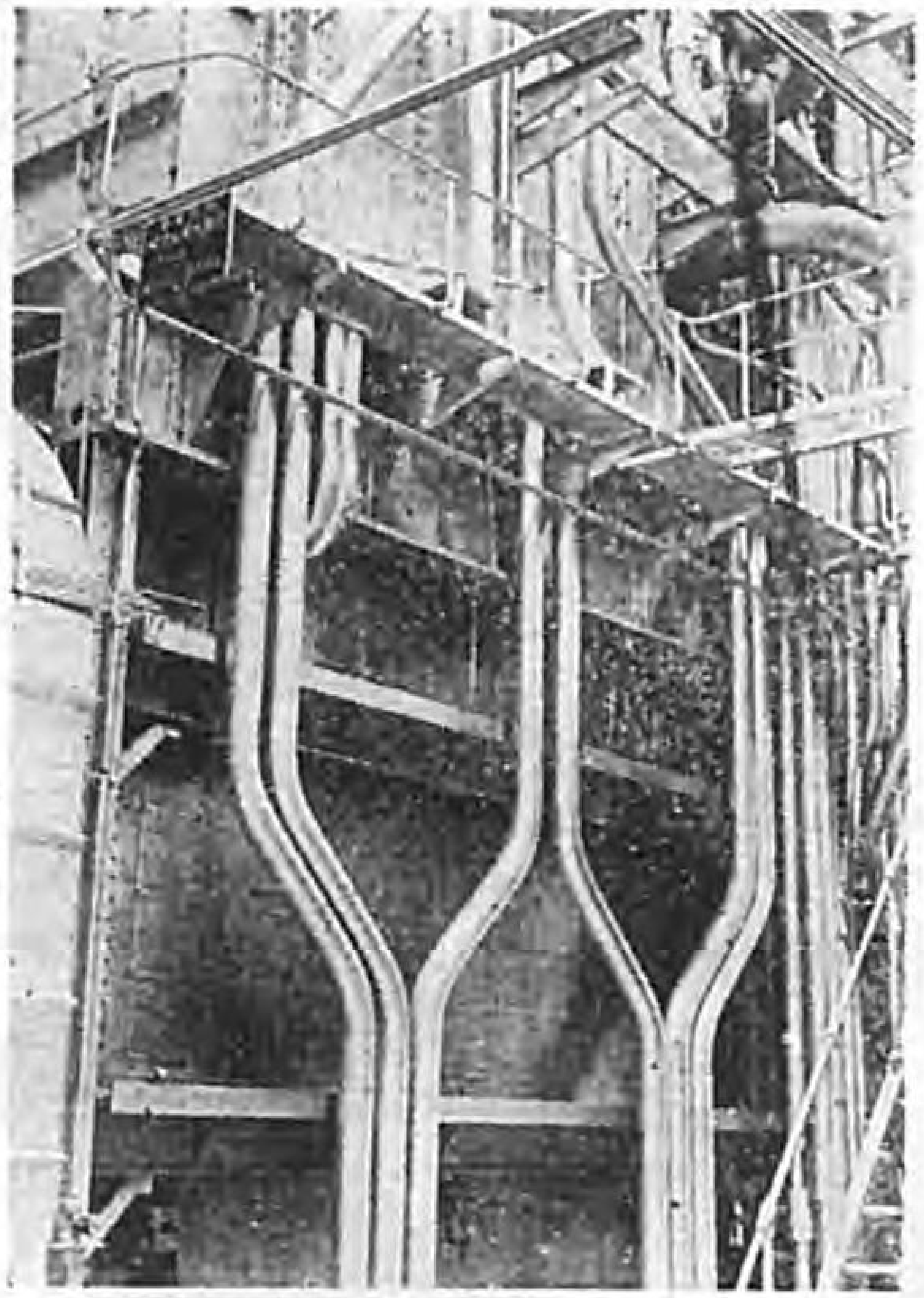
日本石綿商會

東京市麹町區一番町六番地
電話九段(33)三九九〇番
第一工場 大阪府[illegible]
第二工場 大阪府[illegible]

海軍省指定工場

創立明治二十九年

N.A.K.



弊社施行某發電所保温工事の一部

營業種目

硝子綿及岩綿
保温、保冷材料及工事
ブレーキライニング
各種パッキング
石綿紡織製品

日本アスベスト株式會社

營業部 東京市京橋區銀座西六丁目 電話銀座1756・4536・4537・7091番
大阪市此花區下福島五丁目 電話土佐堀739・8366—8369番
工場 東京市品川區北品川四丁目 電話大崎4107・4108・4109番
奈良縣北葛城郡王寺町 電話大和王寺110番
出張所 名古屋、福岡、小倉、長崎、大連、奉天、新京

東洋拓殖株式會社

總裁　安川雄之助

副總裁　池邊龍一

本社　東京市麹町區内幸町一ノ二

ステープルファイバー
切断カッター

商工省撰定
優良國産パス印

製作品目

金切用丸鋸
ベニヤ用庖丁
コルク切用丸庖丁
ゴム切用丸庖丁
木工用各種鋸
レザー切庖丁
其他特殊品

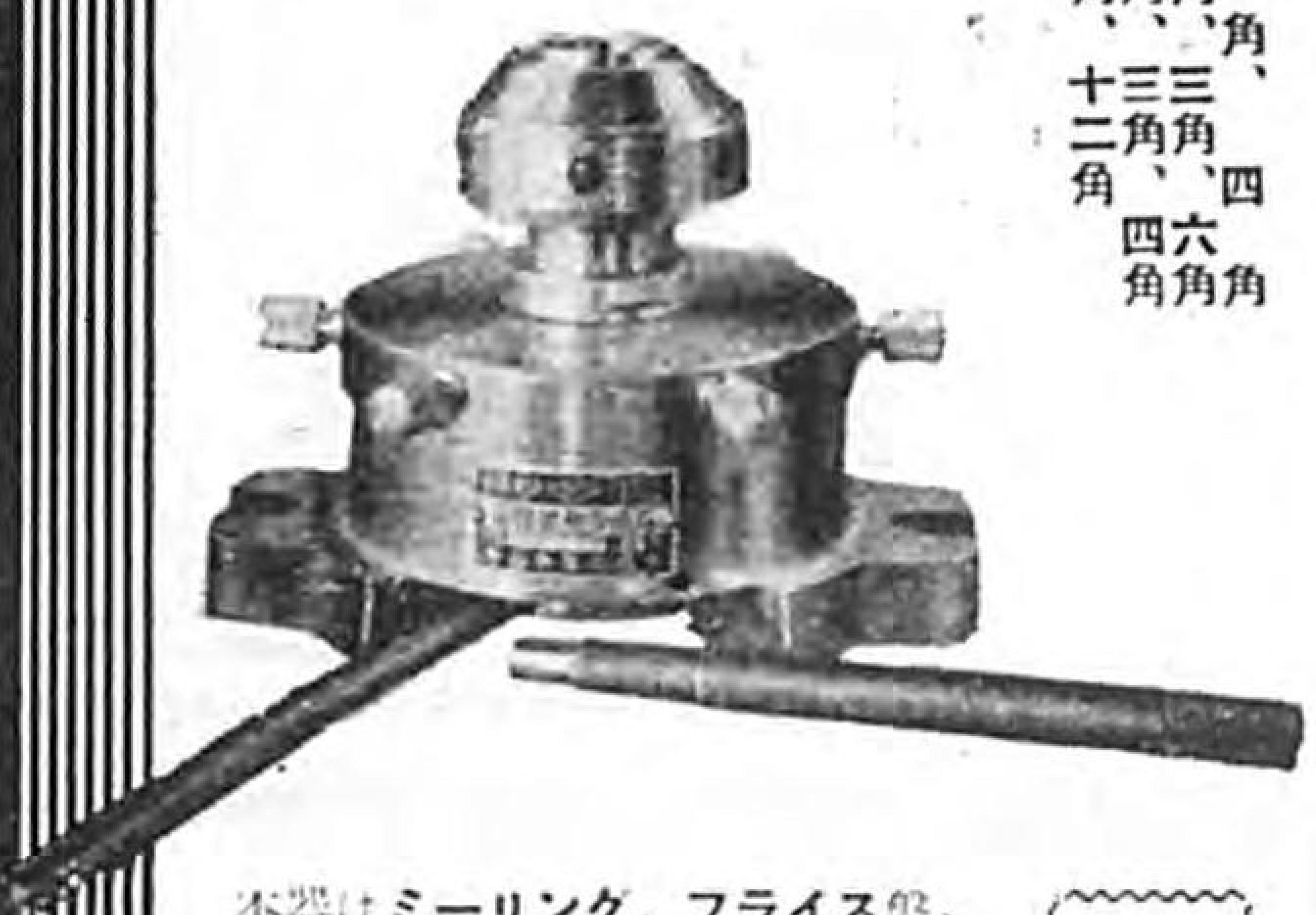
天龍製鋸株式會社

東海道線天龍川驛前　電話中ノ町長二一番
支店工場所在地　大阪市大正區千島町一二九ノ七　電話櫻川三一一一番
東京市深川區木場三丁目　電話本所長一二八四番
秋田市停車場前　電話秋田特長五四二番

工業報國
角取・多角鑽孔ノ能率100/100
優良ナル工具ハ繁栄ノ基礎ナリ

山本式愛國万能多角取

四角割……二角、四角
六角割……二角、三角、六角
十二角割……六角、十二角



本器は**ミーリング、フライス**盤、**ボール**盤其の他にも簡單に取付け得られ作業簡易精度確實にして航空機部分品、双眼鏡部品、機械器具、電機器具其他一般精密なる切溝、鑚孔、二角、三角、四角、六角、八角、十二角、凡ゆる加工に製品に迅速に作業し得る特徴を有するものなり。

新案登録 三五七二八
出願 一三五九四
一一七四〇〇

TRADE MARK SYW

山本製作所

東京市板橋區志村本蓮沼町四〇〇番地
電話赤羽二四〇八番

銅
眞鍮圧延板

伸銅共販株式會社

本社　大阪市北區梅田新道（共同ビル）
電話北⑯ 四八八六番・四八八七番・四八九七番・四八九八番・四八九九番
支店　東京市日本橋區通二丁目（住友ビル）
電話代表日本橋㉔三三七七番

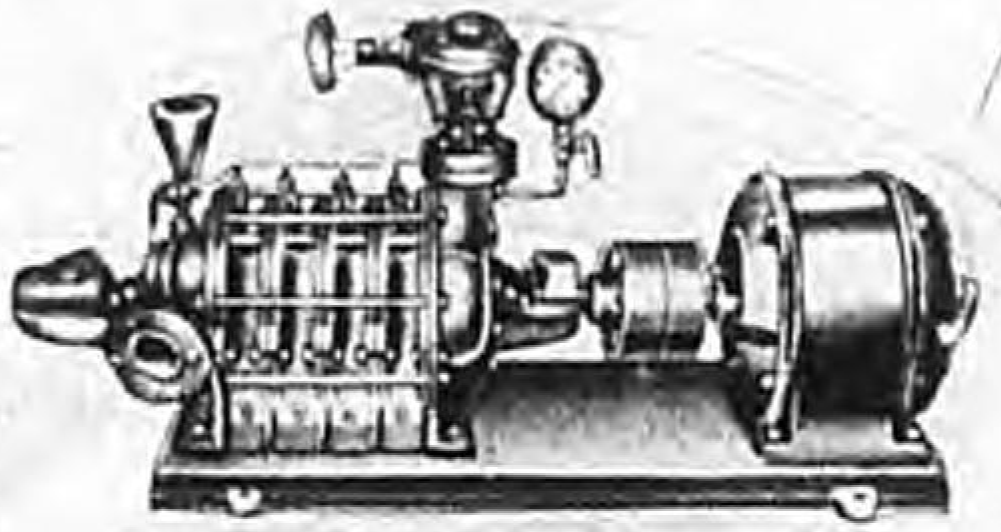
株式會社 大林組

本店　大阪市東區京橋三丁目

支店　東京、横濱、名古屋、福岡、京城、奉天、北京
營業所　京都、神戸、金澤、廣島、仙臺、札幌
出張所　熊本、臺北、大連、新京、牡丹江、鞍山、哈爾賓、天津、青島、張家口
工作所大阪工場・工作所東京工場

高壓タービンポンプ
電動機直結型

附屬品
フートバルブ　呼水漏斗コック
コンモンベット　フレキシブル
カップリング　合フランヂ



各段製作して居ります

斷然優秀を誇る弊所製
ポンプ

混凝土混合機
M.B.型
定置式固定投込ミ漏斗附

混凝土混合機
M.A.型
ヂーゼルエンヂン直結型

單胴捲揚機
H.E.型

クラッシャー

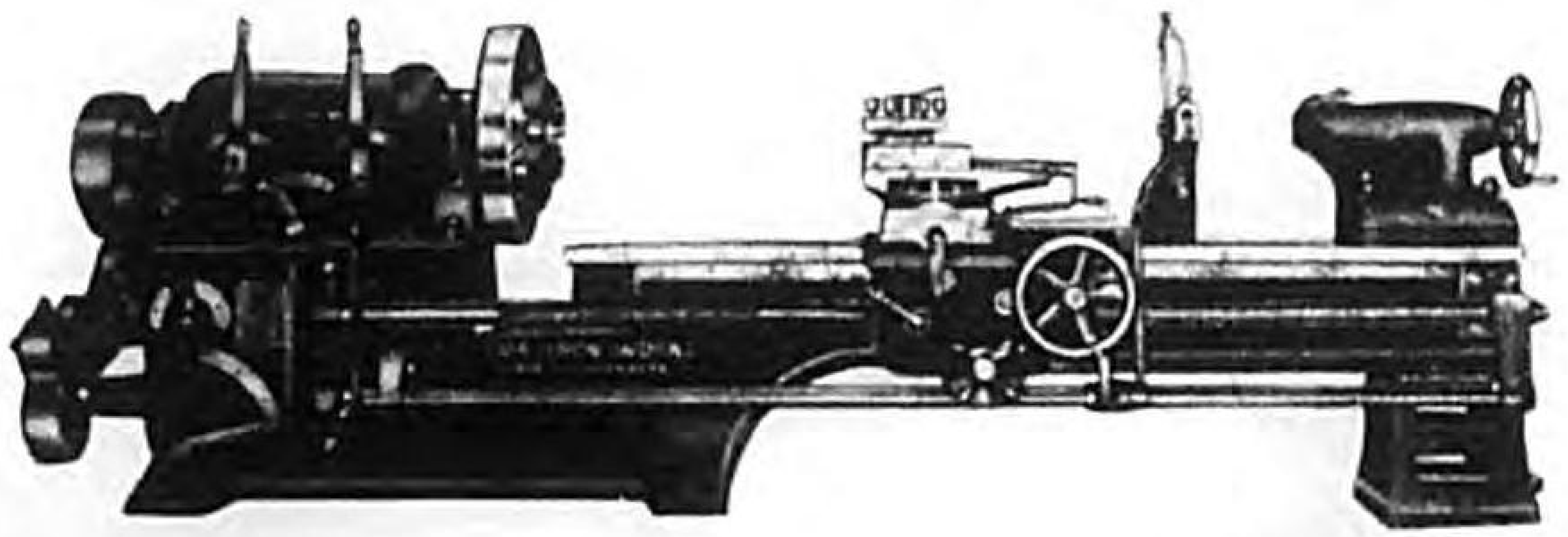
複胴捲揚機
D.H.A.型
スホング附

土木建築鉄道鑛山機械
設計製作販賣

遠藤工業所機械部

營業所　東京市京橋區新川二丁目一番地
電話京橋㊼九二五〇・八六七四番
製作所　東京市城東區南砂町七丁目
埼玉縣川口市本町一丁目

高級工作諸機械

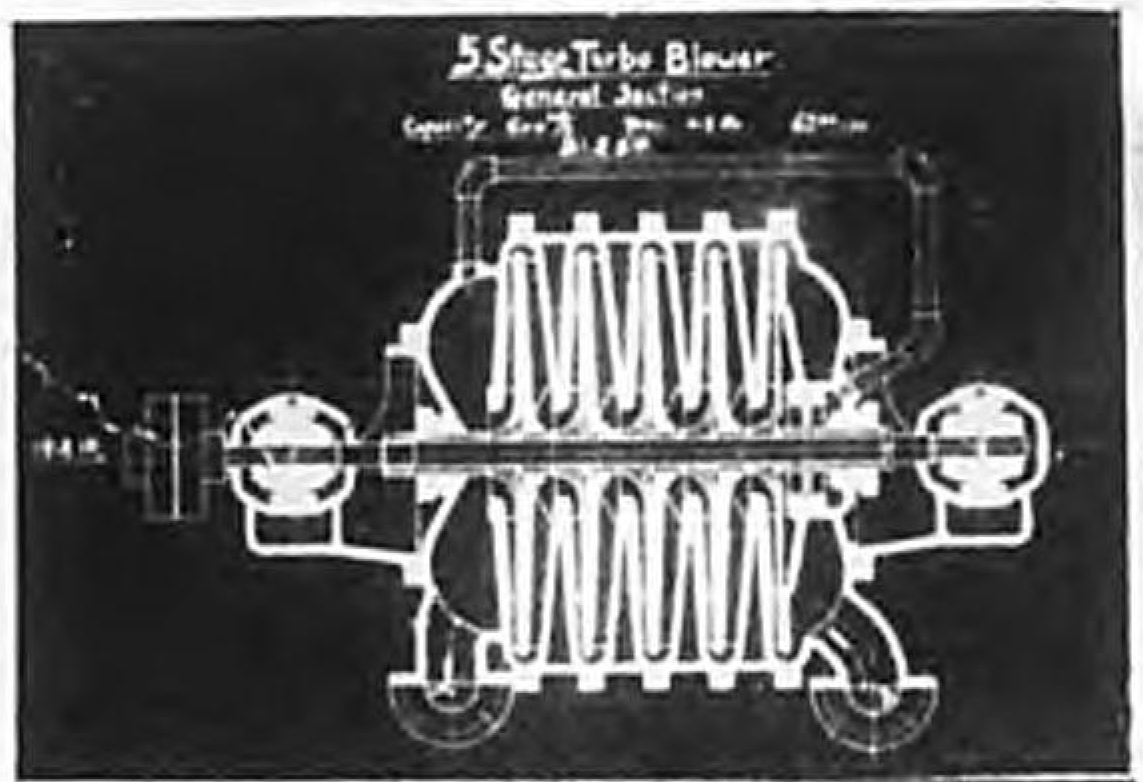


株式會社 東亞鐵工所

本社並工場　大阪市此花區西九條洪通十番地
電話土佐堀(44) 1137番 3967番 4875番 6416番

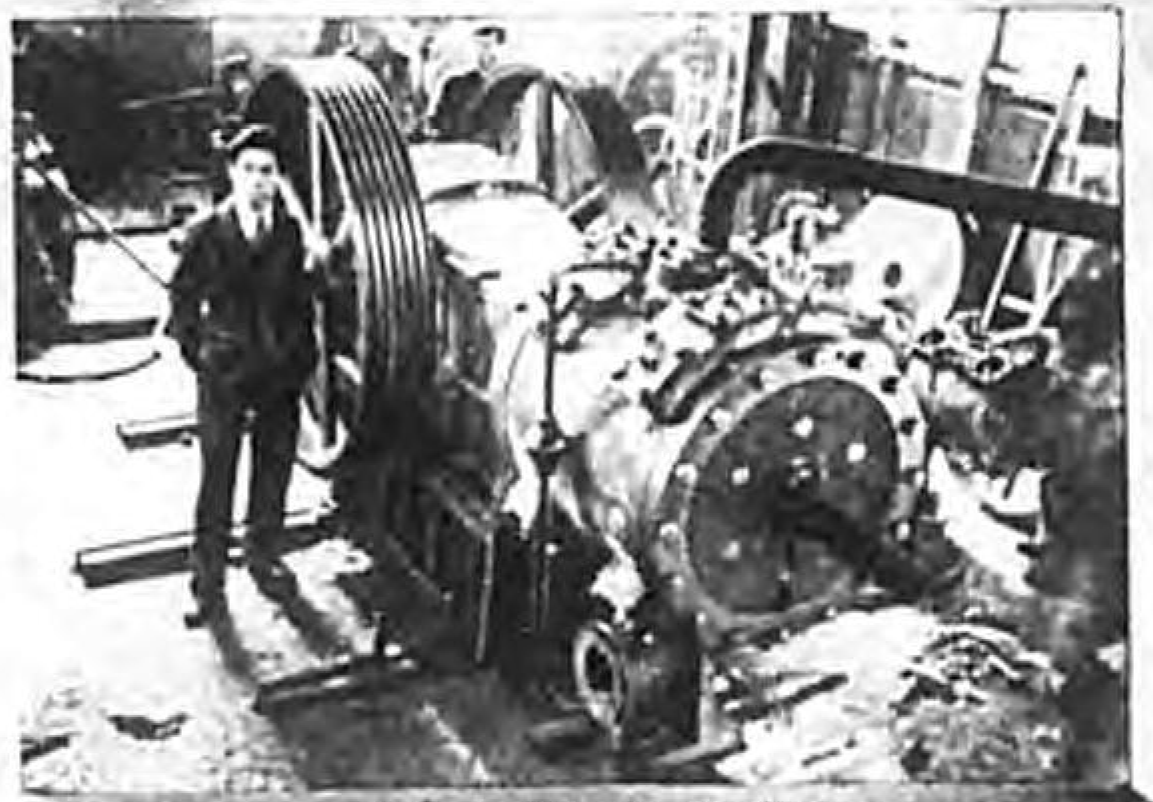
支店並工場　東京市芝區高濱町十番地　電話三田㊺1371・1372・3677番
名古屋出張所　名古屋市中區南大津町(千代田ビル)　電話中局㊃3922番

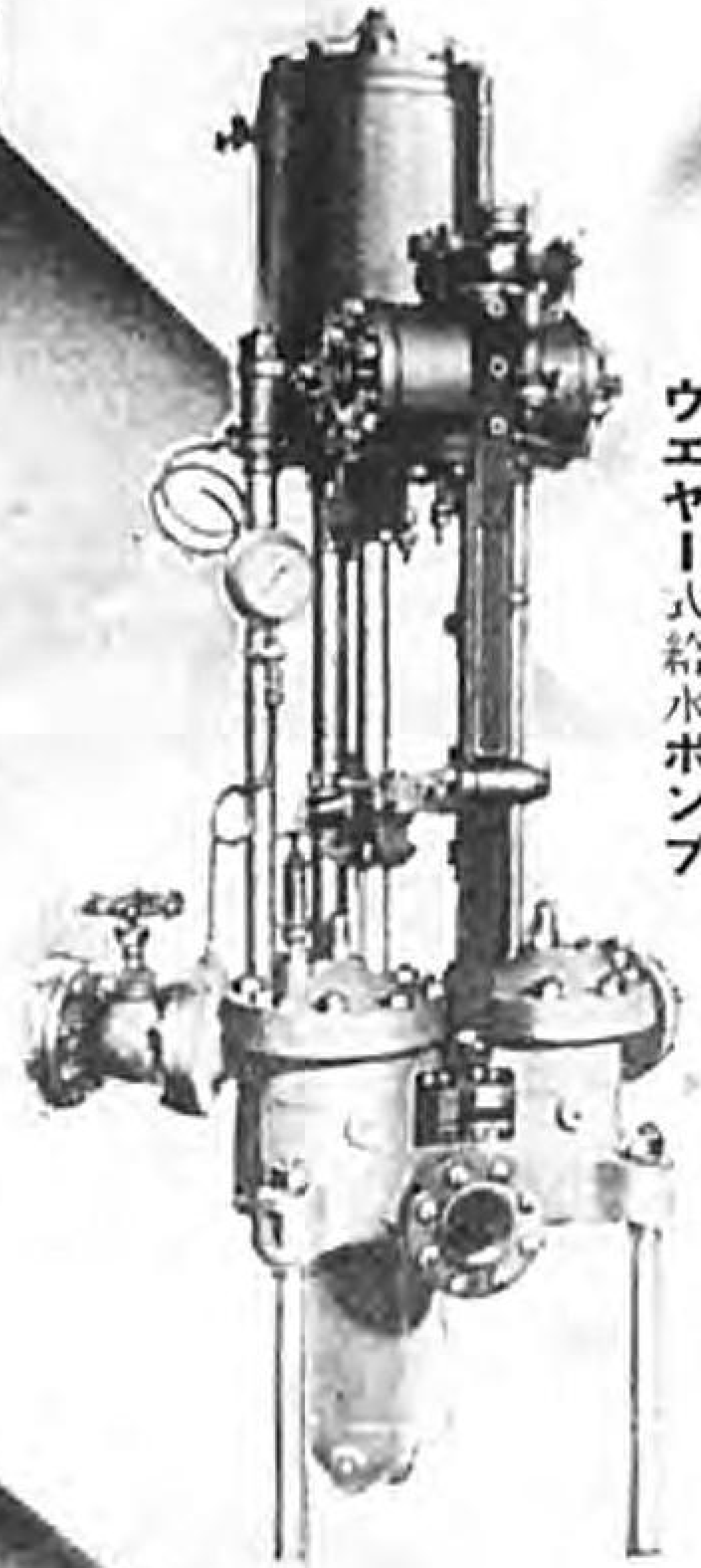
空氣機械　高級ポンプ



營業種目

空氣壓縮機	眞空ポンプ
ターボブラワー	蒸汽動ポンプ
水壓機械	復動ポンプ


26吋×14吋 眞空ポンプ

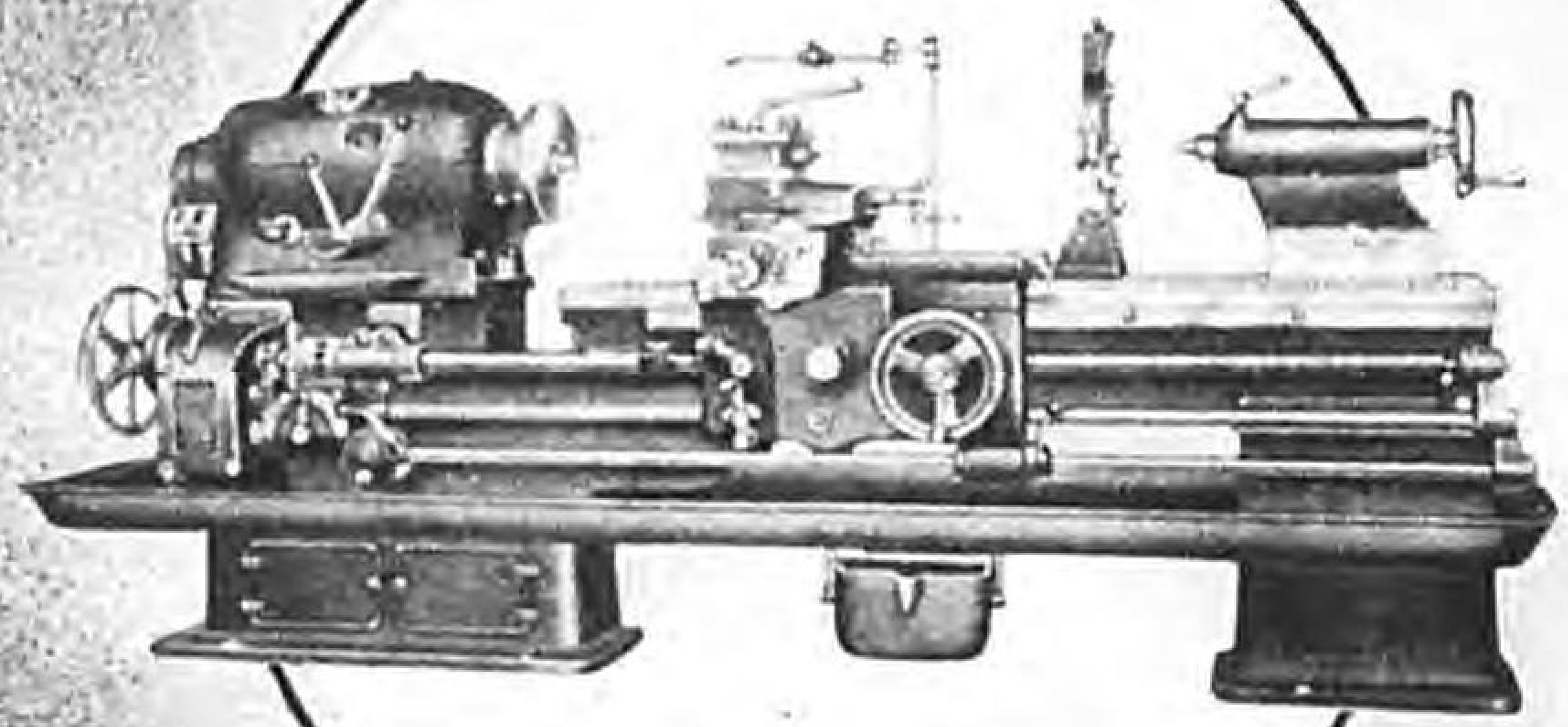

ウエヤー式給水ポンプ

岡本工作所

大阪市東淀川區三津屋南通三丁目三番地
電話北 2442・2443番

工作機械製作

株式會社 大和鐵工所


モーター直結強力型

大阪營業所　大阪市旭區赤川町一六七二番
電話塚川 4141番

世界的權威

蒸溜裝置

專門製作

無水酒精蒸溜裝置

酒精廢液回收蒸溜裝置

アセトンフタノール蒸溜裝置

眞空蒸發並に蒸溜裝置

石油連續式蒸溜裝置

最新設備完成

弊所はあらゆる種類の蒸溜機の製作に正に三十年に垂んなんとする貴重なる經驗を持つてゐます上に尙最新內外國特許をも取入れて居ります。蒸溜機につき御不明の點は何なりと御照會下さい。喜んで親切に御回答致します。

大阪市住吉區平野町正覺寺
電話（天王寺）三六〇番・五六五五・二三〇六
（平野）一四四八番
大阪市平野局私書函第九號

株式會社 高橋鐵工所

製罐工場
大阪市港區繁榮町一丁目二四
電話西六八一八番
大阪市西淀川區佃町一一二六
電話福島二九四六番

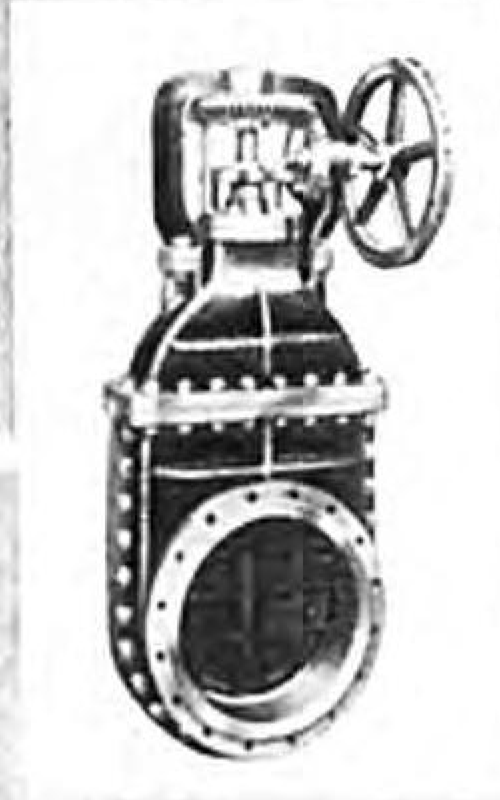
NIPPON TOKUSYU

N.T.V

株式會社 日本特殊バルブ製作所

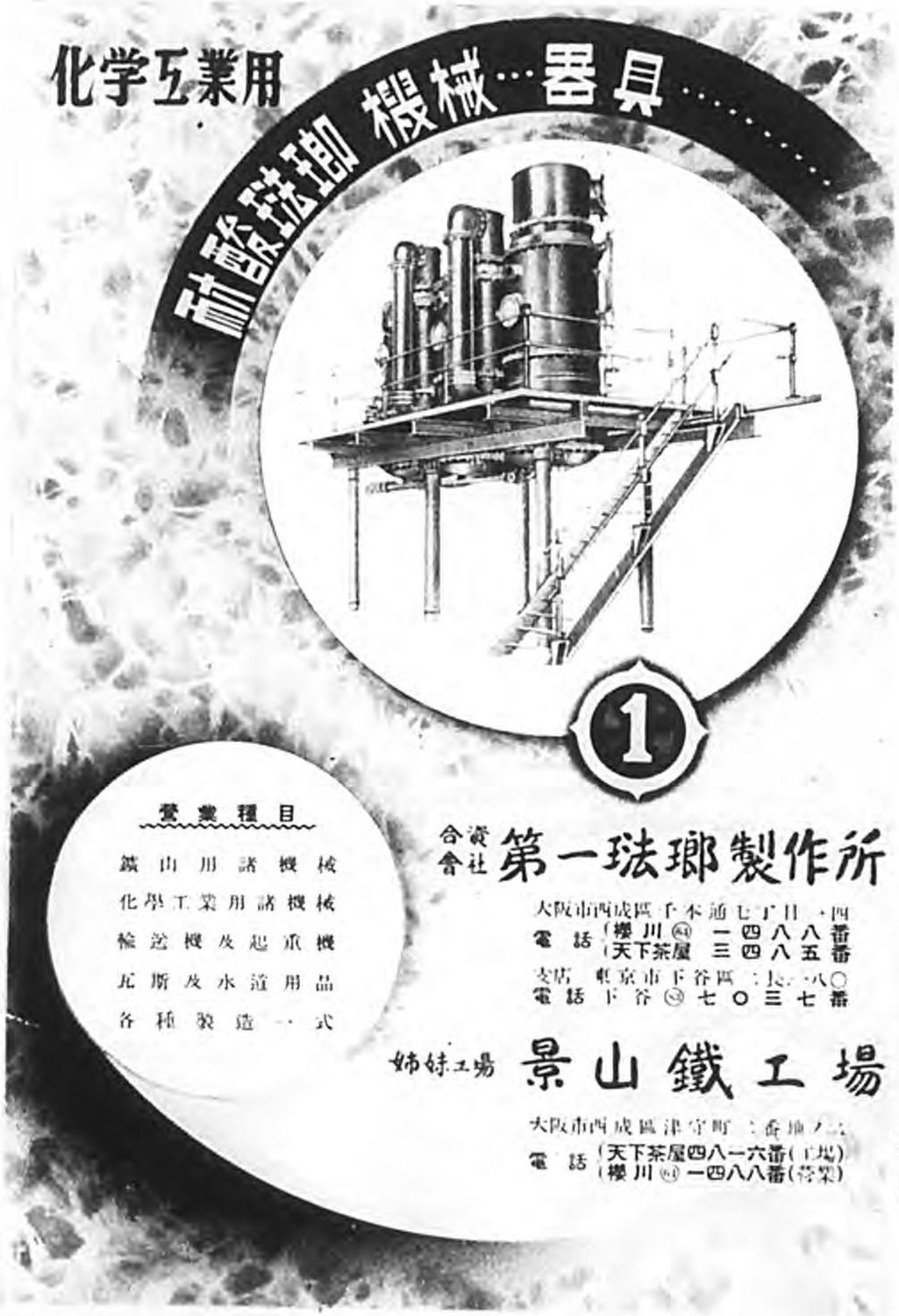
N.T.V ストップバルブ
N.T.V スチームトラップ
N.T.V レデユーシングバルブ
高壓蒸氣用バルブコック
超高壓鍛鋼製バルブ
耐酸バルブコック
其他特殊高壓バルブコック
專門製作

大阪市西淀川區佃町一〇七四番地
電話福島㊄一〇五〇三番
四五〇八番



VALVE SEISAKUSYO

製作種目
特許
愛國水道式自動ポンプ
愛國多段タービンポンプ
愛國各種電動ポンプ
愛國スチームトラップ
愛國ラヂエータートラップ
愛國ピストン式減壓弁
登錄 商標
株式會社 植田機械工作所
大阪市西淀川區大仁西一丁目
電話福島(45) 2319・1422・1522・6717番


化学工業用
耐酸琺瑯 機械…器具……
1
營業種目
鑛山用諸機械
化學工業用諸機械
輸送機及起重機
瓦斯及水道用品
各種製造一式
合資會社 第一琺瑯製作所
大阪市西成區千本通七丁目一四
電話 櫻川(61)一四八八番 天下茶屋 三四八五番
支店 東京市下谷區二長町八〇
電話 下谷(83)七〇三七番
姉妹工場 景山鐵工場
大阪市西成區津守町二番地ノ二
電話 天下茶屋四八一六番(工場) 櫻川(61)一四八八番(營業)

電気鑄鋼界最高峯

機械部
- 造船、造機、陸船、鑛山
- 土木、建築、セメント
- ポンチング、シヤリング
- 諸機械部分品
- 設計及製作

鑄鋼
- 鑄鋼
- ニッケルクローム鋼
- 満俺鋼
- ステンレス鋼
- 耐酸鑄物
- 其他特殊鋼

株式會社 武藤電気製鋼所

本社及工場　大阪市大正區小林町二三二番
電話櫻川㊹六四五六・五三〇〇・三九七〇番
泉尾工場　大阪市大正區泉尾上通五丁目一六番
電話櫻川㊹三四八六番

YOSHIDA LATHES ヨシダ

専門製作工場

株式會社 吉田商工部

大阪市東成區大今里町五七四番地
電話東㊹一二六一番・(二) 六二二番・三八七〇番
大阪市東成郵便局私書函第二二號　振替口座大阪一六一〇番

熔接棒 日本製鐵株式會社 黄印・青印 瑞典ボフタス會社

磨鋼帶・帶鐵

耐酸鋼・特殊鋼

鉞力鈑・金切鋸

ヴアルカナイズド
ファイバー

電氣鋼鈑

美装鋼鈑

薄鈑厚鈑

高島屋飯田株式會社金物部

東京市京橋區銀座西二丁目一番地
大阪市東區横堀一丁目十一番地
名古屋市中區新柳町六丁目三番地

各種鋼管

福安商店

大阪市西區薩摩堀東之町一七
電話新町 一一六四番 三五七七番 二九八四番

工場 大阪市大正區三軒家町三丁目一六六
電話櫻川 二九七七番

出張所 東京市淺草區松葉町
電話淺草 五五九二番

東邦電力株式會社

本社 東京市麹町区丸ノ内一ノ六

科學的經營ト管理ニ

原口電機ノ二大製品

ヤマト、タイム、レコーダーノ利用ハ出退勤ノ記錄ニ限ラズ小型堅牢ノ故ヲ以ッテ、風雨ニ晒サレル街頭ニ進出シ、バスノ制御ニ卓抜セル効能ヲ發揮シテキル

株式會社 原口電機製作所

本社及第一工場 東京市品川區大崎本町三丁目六〇六番地 電話大崎(49)代表四一七八番(2)

第二工場 東京市豊島區西巣鴨三丁目八一四番地 電話大塚一七七三番

大阪營業所 大阪市北區堂島濱通一丁目一(堂ビル) 電話北代表(36)園六三三〇番(5)

分類 P 249 登録番號 4873 6
日満支工業年鑑
昭和十四年版
分類 登録番號
東亞研究所藏書

大同洋灰株式會社

本社　滿洲国吉林市朝陽區栄町大馬路一七九号

工場　滿洲国吉林市外哈達湾駅前
出張所　東京市麹町區丸内一ノ六 海上ビルヂング